

神奈川県立神奈川近代文学館の
維持管理及び運営等に関する業務の基準

令和 7 年 4 月

目 次

1	神奈川県立神奈川近代文学館管理業務基準	1
2	神奈川県立神奈川近代文学館保安警備等業務基準	19
3	神奈川県立神奈川近代文学館清掃業務基準	23
4	神奈川県立神奈川近代文学館電算システム保守管理業務基準	27
5	神奈川近代文学館の施設利用予約システムについて	29
[参考]		
	神奈川県立神奈川近代文学館所蔵資料の概要	31

1 神奈川県立神奈川近代文学館管理業務基準

1 目的

電気事業法その他の法令に基づき、神奈川県立神奈川近代文学館（以下「近代文学館」という。）の電気設備、空調、給排水衛生、昇降機等の各種設備及びこれらに付帯する設備の日常運転及び保守点検を行い、これらの設備が常に円滑に使用できるよう最良の状態に保つほか、建築物における環境衛生の確保に努め、常に良好な状態を維持する。

また、近代文学館の所蔵する資料の保存措置、施設の維持保全の質的向上及び効率的な運営に努めるものとする。

2 対象設備

管理業務の対象設備の概要は次に示すものとし、「管理対象設備一覧」（P4～5）の設備区分及び設備概要によるものとする。

（1）建築物

近代文学館本館、展示館、新館及び工作物

（2）監視制御装置

中央監視制御装置、制御盤、計装機器

（3）電気設備

受電設備、変電設備、非常用自家発電設備、非常用蓄電設備、電気使用場所の設備
弱電設備、外灯設備、通信設備

（4）機械設備

冷熱源設備、蓄熱槽ほか各種タンク、冷暖房関連機器、昇降機設備、自動扉設備

（5）給排水・衛生・ガス設備

給排水関連機器、受水槽・湧水槽、ガス給湯関連機器

（6）防災設備

消防用設備、排煙・防火戸ほか各種防火設備

3 業務内容

（1）統括管理業務

ア 業務の実施計画

業務の実施体制・工程及び業務を行う者が有する資格等の必要事項を記載した「実施計画書」及び「技術員名簿」を作成する。

イ 勤務の配置計画

勤務体制・配置計画及び従事者名等を記載した「勤務予定表」を作成する。

ウ 連絡調整

防災計画に基づく訓練及び教育、運転・監視結果等の報告や意見具申等の連絡調整を行う。

エ 立会業務

官公庁の立入検査・法定による定期検査及び各種営繕工事等について責任者として立ち会うものとする。

オ 労働安全対策

労働災害の防止及び快適な作業環境と職場の安全と健康の確保等に関する訓練計画を作成する。

カ その他

小破修繕等を適宜実施する。

(2) 運転監視業務

ア 運転・監視にあたって、機器の機能及び性能に適した操作並びにスケジュールによる発停等の必要な操作を「運転・点検・監視業務要求水準」(P6～9)に従い行うものとし、運転に係る取り扱いが法令で定められている場合は、その定めるところにより運転するものとする。

イ 機器の運転にあたっては、運転中に巡視し目視等により、機器の異常や不具合及び操作・使用上障害となるものの有無並びに必要な機器の運転状態を監視し、必要に応じて注油、Vベルトの調整など維持保全に努めるものとする。

ウ 運転管理にあたって、関連する機器類の運転状態の把握及び制御を適切に行い、効率的な運転を行うことによりランニングコストの低減を図るよう努めるものとする。

(3) 日常点検・整備

ア 日常点検は、関連する設備機器が正常な運転状態にあるか、法令に定める場合は該当する基準に従って定期的に巡回し、目視・触手等により外部から機器・装置の異常の有無並びに検査及び測定器などにより機器の性能を確かめ、機器の運転状態を点検して事故を未然に防止するよう努めるものとする。

イ 日常点検の方法は、設備の維持保全に必要な基準として定めた「運転・点検・監視業務要求水準」(P6～9)を参考として点検項目及び点検周期に従い実施する。ただし、冷熱源機器及び冷暖房関連機器は運転期間中の定められた周期、機器の経年及び消耗等の程度を考慮して必要に応じ実施するものとする。

ウ 受変電設備・非常用発電設備の日常点検は電気主任技術者が行うものとする。

(4) 定期点検・測定

ア 定期点検は、関連する設備機器の機能及び性能を維持するために実施するとともに、法令に定める定期点検は、該当する規定に基づき職員と協議のうえ、必要に応じて機器を停止して点検・試験及び測定を行いその良否を判断するもので、日常の巡視及び点検で実施できない部分を点検し、事故の未然防止に努めるものとする。

イ 点検及び測定の方法は、定期点検として定めた点検項目を参考として実施するものとする。

ウ 受変電設備・非常用発電設備の定期点検は電気主任技術者が行うものとする。

(5) 定期検査・改修工事等の立会その他

ア 電気主任技術者は、定期検査や改修工事の実施時に立会うものとする。

イ 運転及び点検の結果、機器等に異常が認められる場合は、使用上の障害となる軽度な補修・交換・調整及び清掃等の必要な措置を講じるものとする。

ウ 運転・監視、日常点検及び定期点検業務を実施あるいは立会いを行った場合は、日報や各種報告書等により、その結果を記録するものとする。

(6) 建築物環境衛生管理業務

建築物における衛生的環境の確保に関する法律等に基づく建築物環境衛生管理技術者を選任し、法令に定める管理業務を実施する。なお、本件技術者は、近代文学館の建築物環境衛生管理技術者として、横浜市中福祉保健センターに届け出ることとする。

区 分	実施回数	実施時期（予定）	備 考
空気環境測定	6回	5月、7月、9月、11月、1月、3月	測定17か所 8項目 3回/日
水質検査	2回	簡易項目検査 8月 全項目検査 2月	
受水槽清掃	1回	12月	9立方メートル
害虫防除	2回	4月・10月	面積6,521㎡

4 従事者の選任

業務を行うものは、その内容に応じて必要な知識及び技能を有する者とし、法令による業務を行うものの資格が定められている場合は、当該資格を有する者が業務を行うものとする。また、期間内を通じて同一の従事者が勤務できる体制を確保すること。

(1) 従事者の任務、資格及び人員

ア 電気技術者（技師）

電気技術者は、受変電設備、弱電設備、中央監視装置及び計装設備の保守点検・計画管理・監視業務について、高度な技術力及び判断力及び作業の指揮監督等について総合的な技能を有する者で、試験要領書等の関係書類の整備、各種作業の実施、履行確認、作業における仕様の品質判定、各種報告書の作成及び再発防止措置の策定を滞りなく行うことができる者とする。

電気技術者には、第3種電気主任技術者以上の資格を有し、原則として保守管理の実務経験が15年以上程度の者を1名以上従事させるものとする。

なお、電気事業法に基づき、神奈川近代文学館自家用電気工作物の電気主任技術者として、関東経済産業局長に届け出るものとする。

イ 機械技術者（技師補）

機械技術者は、設備の点検整備、改修保全業務について、作業の内容が判断できる技術力及び必要な技能及び運転・監視及び日常的な点検保守業務について、高度な技術力並びに作業の指揮等の総合的な技能を有する者とする。

機械技術者には、第3種冷凍機械責任者及び乙種第4類危険物取扱者以上の資格を有し、原則としてボイラーまたは空調設備等の実務経験が10年以上程度の者を1名以上従事させるものとする。

5 勤務時間

区 分	勤 務 時 間	人 員
平 日	8：30～18：30	1名
	9：00～19：00	1名
土・日・祝日	8：30～17：30	1名
	9：00～18：00	1名

※ ア 会議室の使用が上表の勤務時間を超えるときは、その使用終了時まで勤務するものとする。

(会議室の使用限度時間は21:00まで)

イ 休館日及び夜間に設備の定期点検等作業委託する場合は、立ち会うものとする。

管理対象設備一覧

設備区分	名 称	設 備 概 要
建築物	1 建物	1 構造/階数/建具 本館 RC/5階建、屋階/ST, SU, AL 他 展示館 RC/3階建、屋階/ST, SU, AL 他 新館 RC/3階建、屋階/ST, SU, AL 他 2 延面積 7,285.3 m ²
	2 外構	1 工作物
監視制御装置	1 中央監視制御装置	監視装置 LCD 2台、プリンタ1台、監視端末2台 NC盤1面、
	2 現場自動制御盤	DP-1 (4面)、DP-2 (1面)、DP-3 (4面)、DP-4 (1面)、DP-6 (1面)、 DP-8 (1面)、DP-9 (4面)、DP-10 (1面)
	3 計装機器	ダンパーモーター、バルブモーター、電磁弁、ファンコイルスイッチ、 各種温湿度検出器等
	4 現場制御盤	1 空調用制御盤ほか 40面 2 制御盤から各機器までの配管配線 AC-8 インバータ盤 追加他
	5 無停電電源装置	監視制御装置用 1台
電気設備	1 受変電設備	1 形式 屋内高低圧配電盤、パイプフレーム式 2 変圧器 乾式 3相 300kVA×1 3相 250kVA×1 3相 150kVA×1 単相 100kVA×1 単相 150kVA×1 スコット 30kVA×1 コンデンサ 3相 53.2kvar×1 リアクトル 3相 3.19 kvar×1
	2 自家発電設備	1 形式/機種 屋内型 JP22、JCAOS/ディーゼルエンジン 2 出力 250kVA 3 冷却方式 放水式 4 燃料槽 390L 5 起動用蓄電池 DC24V、120Ah 6 冷却補給水ポンプ 2台
	3 直流電源設備	1 形式 屋内キュービクル蓄電池設備 90D315 2 蓄電池形式 AMH200P 3 用途 受変電制御、非常照明兼用
	4 配電盤	1 低圧配電盤 配電盤(電気室) 9面 2 動力盤群 空調用動力盤ほか 計12面 3 照明用分電盤 現場照明分電盤 15面
	5 漏電遮断器	1 96台
	6 電線路(幹線)	1 動力系、制御系、微弱信号系、火災系
	7 電気時計設備	1 親時計 2回線 2 子時計 29個 3 その他の時計 2個
	8 拡声設備	1 壁掛形 22個、壁埋込型 9個、壁掛け時計型 4個 2 スピーカ天井埋入形 62個 3 トランペット形 8個
	9 火災報知設備	1 受信機 GR形 510アドレス、副表示盤 2 主たる感知器 煙感知器(イソ式、光電式)
	10 電話設備	1 電話交換機 回線数:100回線電話機、計68台
	11 その他通信設備	1 展示館ホール放送設備 2 TV共聴 UHF/VHF 1組 3 身障者トイレ呼出 2カ所 4 インターホン 6カ所
	12 ITV監視設備	1 ITV監視盤2面、ITVカメラ 25台

設備区分	名 称	設 備 概 要
	13 電気使用場所の設備	1 器具形式 Hf 下面開放型、普通一般照明ミハロゲン投光器、紫外線防止用特殊蛍光灯、調光器、直管型 LED 灯、LED ダウンライト他 2 非常照明 26L 灯 白熱灯、LED 3 誘導灯等 建築基準法、消防法に準じて設置 4 その他の動力設備 ・電動書架 33 ブロック、展示電動装置ほか
	14 屋外電気設備	1 屋外高圧引込線路 50m (UAS まで) 2 ハットホール(1.2×1.2×1.5) 2 基 3 外灯ポール基礎共 35 基
機械設備	1 冷熱源設備	1 空冷ヒートポンプチラー(重塩害対策形) (1)60kw(25.15Rt) 2 台 (本館用) (2)15kw 4 台 (新館用) (3)15kw, 11kw 各 1 台 (展示館用) 2 空冷パッケージ空調機 6 台 3 蓄熱槽 180t 1 槽、80t 2 槽 4 クッションタンク 1 t 2 台 5 膨張タンク 67L 1 台、膨張タンク 200L 2 台 6 呼水槽 150L 2 台 7 冷温水配管、止水弁
	2 冷暖房関連機器	1 エアハンドリングユニット 14 台 2 ファンコイルユニット 36 台 3 リターンファン 6 台 4 全熱交換機 7 台 5 空調用循環 1 次ポンプ 7 台 6 空調用循環 2 次ポンプ 11 台 7 給排気ファン 35 台
	3 昇降機設備	1 乗用ロープ式エレベーター 2 台 2 荷物用ロープ式エレベーター 1 台 3 タムエーター 1 台
	4 自動扉設備	1 自動扉装置 5 台
給排水衛生設備	1 給排水衛生機器	1 給水設備 (1)受水槽 FRP パネル水槽 単板 2 槽式 有効容量 9t (2)加圧給水ポンプユニット 2 セット(ポンプ 2 台/セット) (3)給水配管(ライニング鋼管)、止水弁 (4)衛生器具、水飲器、電気貯湯器 2 排水設備 (1)湧水槽 125t 1 槽、128t 1 槽、127t 1 槽、2 m ³ 1 槽 (2)湧水排水ポンプ 14 台 (3)大便器、小便器、その他 (オストメイト) (4)雨水管、排水管、雨水枳 3 ガス設備 (1)都市ガス、配管、ガス関連機器

設備区分	名 称	設 備 概 要
防災設備	1 消防用設備	<p>1 消火設備</p> <p>(1) 防災監視盤（自動火災報知、防排煙・防火戸制御盤、ガス漏れ警報）、副表示盤、非常電話盤、非常放送盤、エレベーター監視盤</p> <p>(2) 感知器 206 個 3 種感知器 37 個</p> <p>(3) ガス漏れ検知機 5 個</p> <p>(4) 消火器具 60 本(27 本、16 本、17 本)</p> <p>(5) 屋内消火栓設備 13 台</p> <p>(6) ハロゲン化物消火設備 ハロゲン 1301 60kg×8 本、50kg×9 本</p> <p>(7) 不活性ガス消火設備 CO2 45kg×20 本</p> <p>(8) 誘導灯設備 84 個</p> <p>(9) 誘導ハッチ及び扉 3 カ所</p> <p>(10) 避難梯子及び固定梯子 7 カ所</p> <p>(11) 排煙機 3 台</p> <p>(12) 消火水槽 6 m³ 1 槽</p> <p>(13) 消火補給水タンク 1 m³</p> <p>(14) 消火ポンプ 呼水槽 100L</p> <p>(15) 消火ポンプ 1 台</p>

運転・点検・監視業務要求水準

原則として、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」最新版に基づき実施するが、以下の要求水準以上の見識でもって業務を遂行するものとする。

	区 分	運転操作	監 視
建築物	建物、外構	目視・触手点検	・ひび、割れ、浮き、ふくれ等変形・破損・漏水の有無
	建具	目視・触手点検	・破損、腐食、作動状態の劣化の有無
監視制御装置	中央監視制御装置（※1）	1 空調機器運転制御 ・冷熱源機器の運転監視 ・冷暖房関連機器の運転監視 2 各室内温湿度監視 ・収蔵庫、来館者部位ほか 3 エネルギー使用量 ・電気・水道 4 各機器運転の制御 ・スケジュール運転の入力 ・自動制御設定値の設定・変更 5 各種指示値の確認と記録	・ディスプレイにより、運転状態、故障、制御異常等の監視及び検証・初動対応 ・運転中の異音・振動、異常について原因の調査、点検、初動対応・応急措置
電気設備	受電設備	1 受電電力量計(取引計器)の計測 ・電力量、最大需要電力、力率 2 高圧受電盤の監視 ・各計器の指示値計測 ・保護継電器の動作表示の有無 3 高圧配電盤の監視 ・各計器の指示値計測 ・保護継電器の動作表示の有無	受電盤上の電力需給状態、負荷状態、力率の制御状態、開閉器の投入状態、表示灯・動作表示等の確認及び監視
	変電設備	1 配電盤の監視 ・各計器の指示値計測 ・保護継電器の動作表示、開閉器の投入開放状態の有無 2 接地線 ・接地極への漏れ電流測定	配電盤上の運転状態等の確認・監視及び接地線の電流測定
	自家発電設備（※3）	1 始動性能の確認 ・運転状態の良否判定 2 設備全体の機能点検 ・損傷・漏れの有無 ・蓄電池の指示値の計測 3 蓄電池の均等充電(1回/3か月)	無負荷運転時の回転数、油圧・油温、水温、電圧等の確認 冷水槽の水位確認 起動用蓄電池の電圧確認 非常発電機室の吸排気ファンの電流確認
	直流電源設備（※3）	1 充電装置等の監視 2 蓄電池の均等充電 1回/3か月)	蓄電池充電装置の開閉器類の正常位置、液量の異状警報の有無等の監視

	区 分	運転操作	監 視
	電気使用場所 の設備	1 配線及び配線器具並びに動力設備等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理) 2 照明器具の不点及び破損 ・ランプの交換 ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理)	
	非常放送設備 (※3)	1 非常放送装置の点検及び確認 ・平常時: 各スイッチ類の操作・確認 ・警報発報時: 防災活動及び避難誘導の支援 ・復旧または誤動作: 各スイッチの復旧操作	非常放送設備の表示、警報等の監視
	身障者警報設備	1 警報・表示設備の監視 ・平常時: 各スイッチ類の操作・確認 ・警報発報時: 防災活動及び避難誘導の支援 ・復旧または誤動作: 各スイッチの復旧操作	警報盤の確認、監視、異常時の操作全般
	その他の設備 (※4)	1 機器等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理又は措置) 2 漏電遮断器点検	機器等の外観、異音、異臭、動作不良等の監視、確認
機 械 設 備	冷熱源機器 (※2)	1 空冷ヒートポンプ・チラー・パッケージ空調機の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理又は措置) 2 蓄熱槽、呼水槽等の監視	運転中の各部の圧力、温度、各冷媒の液位状態、冷温水配管周りの漏れ、弁、圧縮機の異音及び振動等の有無、空気出口及び設定温湿度等の確認及び監視 運転中の槽内温度、水位等の異常警報の有無の監視
	冷暖房関連機器	1 空調機の運転、確認 ・送風・還風機: 運転前の確認、運転及び停止 ・全熱交換器: 異音及び異常振動、駆動装置の運転状態の確認	運転中の設定温湿度等の確認及び監視、空気汚染防止、機器の異常の有無、運転状態等の確認及び監視等

	区 分	運転操作	監 視
		2 ファンコイルユニット機器等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理) 3 換気設備 ・換気・排風機の運転及び停止、監視(異音及び異常振動の有無、運転電流の指示値確認等) 4 空調用循環ポンプの監視 ・異音及び異常振動、電動機の異常発熱の有無等	
機 械 設 備	昇降機設備 (※5)	1 運行状況の監視 2 機器等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検(軽微な応急修理)	運転中の異音・振動及び各機器等の異常の有無 着床レベルの確認
	自動扉設備 (※6)	1 動作状況の監視 2 機器等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検(軽微な応急修理)	運転中の異音・振動及び各機器等の異常の有無 感知センサーの確認
給 排 水 衛 生 設 備	給水設備	1 加圧給水ポンプユニット ・自動・交互発停運転等の確認 ・給水バルブ等の作動状態	運転中の状態、異音及び振動等の確認及び監視等
	水質管理	1 残留塩素の測定 ・末端水栓での水道水測定 ・項目検査(簡易・全項目)	色濁り、臭味の確認 基本項目、簡易項目、トリハロメタン検査
	排水設備	1 排水ポンプ ・自動・交互発停運転等の確認 ・機器等の異常及び破損 原因の調査、点検 (汲上げ等応急措置)	運転中の確認及び監視
	その他排水設備	1 機器等の動作状況の監視 2 機器等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理又は措置)	機器等の外観、異音、異臭、動作不良等の監視、確認
	ガス設備	1 機器等の異常及び破損 ・原因の調査 ・点検(軽微な応急修理)	異音、異臭等の異常の確認

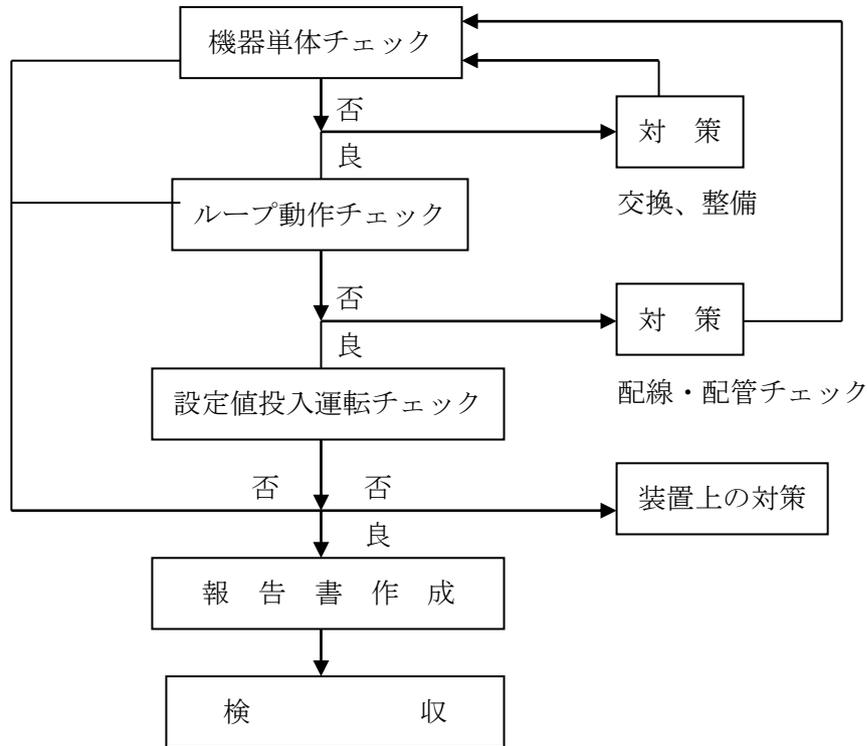
	区 分	運転操作	監 視
防 災 設 備	自動火災報知 設備 (※3)	<p>1 警報・表示設備の監視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常時： 各スイッチ類の操作・確認 ・警報発報時： 現場確認及び火災状況の把握、音響スイッチ、火災復旧スイッチ等の操作、消防機関への通報、防災活動及び避難誘導の支援、消火設備の起動確認、DCS 火災連動の対処 ・復旧又は誤動作： 各スイッチの復旧操作、DCS 火災連動の対処 	警報盤等の電源表示等の確認、各スイッチ類の定位置等の確認及び監視
	排煙設備 (※3)	<p>1 警報・表示設備の監視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常時： 各スイッチ類の操作・確認 ・警報発報時： 排煙機及びダンパーの動作確認、防火戸及びシャッターの動作確認 ・復旧又は誤動作： 排煙機及びダンパーの復帰操作、防火戸及びシャッターの復帰操作 	防災盤上の表示灯による電源表示等の確認、各スイッチ類の定位置、排煙機、ダンパー、防火戸、シャッター等の異常時の操作全般
	ガス漏れ警報 設備 (※3)	<p>1 警報・表示設備の監視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常時： 各スイッチ類の操作・確認、予備電源の電圧確認 ・警報発報時： 現場確認及び状況の把握、ガス栓の操作 ・復旧又は誤動作： 各スイッチ復旧等の操作 	防災盤上の表示灯による電源表示等の確認、各スイッチ類の定位置、ガス栓の閉止、ガスの排出等の異常時の操作全般
	その他設備 (※3)	<p>1 動作状況の監視</p> <p>2 機器等の異常及び破損</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因の調査 ・点検及び修理(軽微な応急修理又は措置) 	機器等の外観、異音、異臭、動作不良の監視及び確認

※印については、次葉以降の注意事項を参照のこと。

◎空調用自動制御機器保守管理（※1）

I 空調用自動制御機器保守点検

○ 空調用自動制御機器の保守作業については原則として下図のフローに基づいて実施する。



○ 空調用自動制御機器の保守については、その機能を充分満足させるよう下記の点検仕様により作業を実施する。

機器群	機器名・型式	保守内容
1 電気式 自動 制御 機器	a サーモスタット 挿入型サーモスタット ヒューミディスタット	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 接点部及びポテンシヨメータワイパー機構の清掃点検調整 3 湿度エレメントの点検整備 4 機器取付状態のチェック（緩み、取付方向の確認磨耗、腐食の有無等詳細点検） 5 設定値の確認（設定値、比例帯、デファレンシャル） 6 設置端子のゆるみチェック
	b コントロールモーター	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 伝動部要所に給油、動作点検 3 モーターストロークの点検調整 4 スプリングテンションの確認 5 モーター内部、ポテンシヨメータ、ワイパー機構の清掃点検調整 6 バランシングリレーの点検 7 電源電圧の点検
2 電子式	a 温度検出器 温湿度検出器 CO2 検出端	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 エレメントの清掃及び電気抵抗値による特性チェック 3 出力電圧による特性チェック 4 接続端子のゆるみチェック 5 標準ガスによる更正

機器群		機器名・型式	保 守 内 容
自動制御機器	b	圧力発信器 流量発信器	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 エレメントの特性チェック整備 3 接続導管内の清掃、漏れチェック
	c	温度調節計 圧力調節計 CO2 調節計	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 増巾部の特性チェック 3 設定値の確認（温湿度設定、比例帯、デファレンシャル・オーソリティー、微調整つまみ） 4 接続端子のゆるみチェック 5 キャリブレーション施行 6 電源電圧チェック 7 許容周囲温度チェック圧力調節計
弁類	3	2方弁 3方弁 電動弁	1 弁本体の取付方向の確認 2 弁本体のストローク点検 3 ブランドの漏れ点検・増締め 4 全閉時の漏れチェック 5 全開・全閉作動チェック
		小型電磁弁	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 動作チェック 3 取付方向の確認
補助機器		トランス	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 一次、二次電圧のチェック 3 異常発熱の有無チェック 4 接続端子のゆるみチェック
		電源 補助リレー 差圧スイッチ	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 動作チェック 3 接点部の清掃・点検 4 接続端子のゆるみチェック
		変換器	1 本体の塵埃除去及び外観点検 2 入力信号、出力信号の特性チェック
		制御盤	1 盤内諸機器の清掃、点検、調整 2 接続端子のゆるみチェック 3 電源電圧の確認 4 異常発熱の有無確認

II 中央監視装置保守点検

○保守点検の方式については原則としてフルメンテナンス契約（総合巡回方式）とする。

中央監視装置の保守については、下記の通りに作業を実施する。

[1] オペレータワークステーション（OWS）

	点 検 項 目	周期	備 考
1	各部清掃点検	1 本体清掃点検	1年
		2 マウス清掃	1年
		3 エアーフィルター清掃	1年
		4 カード清掃及び目視点検	1年

	点 検 項 目	周期	備 考
2	各接続点検	1 プラグイン点検	1年
		2 ねじ止め部点検	1年
		3 ケーブルのねじれ及び破損点検	1年
3	電源装置点検	1 供給電源点検	1年
4	スイッチ・ランプ 点検	1 スイッチ動作点検	1年
		2 ランプ点灯点検	1年
5	機能点検	1 自己診断機能の点検	1年
		2 警報機能の点検	1年
		3 表示部機能の点検	1年
		4 補助記憶部の点検	1年
		5 ファン動作点検	1年
		6 N1バス通信機能の点検	1年
		7 標準RS-232-C通信機能の点検	1年
		8 オプション通信カードの機能点検	1年
		9 システムプログラムによる動作点検	1年
定期交換部品	1 OWS	5年	
	2 LCD装置	3年	

[2] メッセージプリンター (PRT)

	点 検 項 目	周期	備 考
1	各部清掃点検	1 本体外部清掃点検	1年
		2 本体内部清掃点検	1年
2	各接続部点検	1 プラグイン点検	1年
		2 ヒューズ及びホルダ点検	1年
		3 ケーブルのねじれ及び破損点検	1年
		4 カードコネクタ点検	1年
3	スイッチ・ランプ 点検	1 スイッチ動作点検	1年
		2 ランプの点灯点検	1年
4	機構部点検	1 各部注油グリスアップ	1年
5	機能点検	1 自己診断機能の点検	1年
		2 オンライン印字テスト	1年
定期交換部品	1 プリンター装置	5年	
	2 リボンカセット	適宜	

[3] デジタル・プラント・コントローラ (DPC)

点 検 項 目		周期	備 考
1	各部清掃点検	1 筐体内外部清掃点検	1年
		2 カード清掃及び目視点検	1年
		3 操作パネル清掃点検	1年
2	各接続部点検	1 ヒューズ及びホルダ点検	1年
		2 端子のゆるみ点検	1年
		3 ケーブルのねじれ及び破損点検	1年
		4 プラグイン点検	1年
3	電源装置点検	1 供給電源点検	1年
		2 バッテリー点検	1年
4	スイッチ・ランプ 点検	1 スイッチ動作点検	1年
		2 ランプの点灯点検	1年
5	機能点検	1 基本部の点検	1年
		2 通信機能の点検	1年
		3 入出力機能の点検	1年
		4 操作パネル表示、操作機能点検	1年
		5 データ設定器との送受信機能点検	1年
		6 ポイントパラメータの確認	1年
定期交換部品	1 ヒューズ	3年	
	2 バッテリーパック	5年	
	3 電源ユニット	8年	

[4] インターホン

1 ケーブル検査

インターホンの関連をもつケーブルのゆるみ、接触をチェックする。

2 音量検査及び修正

盤面のインターホンから離れた所に立ち、通話の内容が明瞭に聞きとれるように音量を調節・修正する。

3 ローカル子機との通話検査

中央監視盤と各ローカル子機との通話ができるかどうかチェックする。と同時に音量の調節・呼出ボタンが正常に作動するかをみる。

[5] インプット, アウトプットモジュール (IOM)

点 検 項 目		周期	備 考
1	各部清掃点検	1 筐体内外部清掃点検	1年
		2 カード清掃及び目視点検	1年
2	各接続部点検	1 ヒューズ及びホルダ点検	1年
		2 端子のゆるみ点検	1年
		3 ケーブルのねじれ及び破損点検	1年
3	電源装置点検	1 供給電源点検	1年
		2 バッテリーの点検	1年

	点 検 項 目		周 期	備 考
4	ランプ点検	1 各LEDランプの点灯点検	1年	
5	機能点検	1 アドレス設定スイッチ点検	1年	
		2 入力出力設定点検	1年	
		3 サービスモジュールによる入力確認	1年	
		4 模擬入力試験	1年	

[6] ネットワーク・コントロール・ユニット (NCU)

	点 検 項 目		周 期	備 考
1	各部清掃点検	1 筐体内外部清掃点検	1年	
		2 カード清掃及び目視点検	1年	
2	各接続部点検	1 プラグイン点検	1年	
		2 カードコネクタ点検	1年	
		3 ねじ止め部点検	1年	
		4 ケーブルのねじれ及び破損点検	1年	
3	電源装置点検	1 供給電源点検	1年	
		2 出力電圧点検	1年	
		3 バッテリー点検	1年	
4	スイッチ・ランプ点検	1 スイッチ動作点検	1年	
		2 ランプ点灯点検	1年	
5	機能点検	1 基本部の点検	1年	
		2 警報機能の点検	1年	
		3 停電／復電時の動作点検	1年	
		4 N1バス通信機能の点検	1年	
		5 アナログ入出力機能の点検	1年	
		6 ステータス入出力機能の点検	1年	
		7 パルス入出力機能の点検	1年	
		8 シーケンス入出力機能の点検	1年	
		9 計測用入出力機能の点検	1年	
		10 オプション通信カードの機能点検	1年	
		11 システムプログラムによる動作点検	1年	
定期交換部品		1 バッテリー・パック	5年	

[7] その他

- 1 各部屋の温湿度が設定通りの運用にならない場合は、状況確認の上、正常の状態に復旧するよう最大限に努める。
- 2 DDC 制御の機器チェック、プログラム動作確認、パラメーターチェックとその補正、動作確認を行って制御機器の性能維持に最大限配慮すること。

空調用自動制御機器保守作業

No.	系 統 名		No.	系 統 名	
1	熱源系統	年 2 回		(増築部分)	
2	AC-1 収蔵庫系統空調機制御	年 1 回	1	新熱源系統	年 2 回
3	AC-2 収蔵庫系統空調機制御	年 1 回	2	AC-10 系統空調機制御	年 1 回
4	AC-3 閲覧室系統空調機制御	年 1 回	3	AC-11 系統空調機制御	年 1 回
5	AC-4 事務室系統空調機制御	年 1 回	4	AC-12 系統空調機制御	年 1 回
6	AC-5 資料室系統空調機制御	年 1 回	5	AC-13 系統空調機制御	年 1 回
7	特別資料室系統熱源	年 2 回	6	AC-14 系統空調機制御	年 1 回
8	AC-6 特別資料室系統空調機制御	年 1 回	7	F C U 制御	年 1 回
9	AC-7 展示ホール系統空調機制御	年 1 回	8	ファン発停系統	年 1 回
10	AC-8 ロビー系統空調機制御	年 1 回	9	計測系統	年 1 回
11	AC-9 ホール系統空調機制御	年 1 回	10	中央監視装置	年 2 回
12	F C U 制御	年 1 回			
13	計測系統	年 1 回			
14	バルブ切換	年 2 回			
15	中央監視装置	年 2 回			

◎冷暖房空調機器保守管理（※2）

1 空冷チリングユニット6台………圧力計、連成計 年1回点検

その他年4回(四半期毎に1回)

○冷房運転開始切替点検、冷房期間中の点検、暖房運転開始切替点検、暖房期間中の点検箇所は下記の通りとする。

I ①圧力計精密検査

②連成計精密検査

II 冷房運転開始切替点検保守作業

- 1 電気関係絶縁抵抗測定
- 2 冷媒及び油漏れの点検
- 3 水漏れの点検
- 4 制御機器の作動試験
- 5 保守装置の作動試験
- 6 ファン点検、注油、ベルト調整
- 7 運転調整
- 8 温度測定

III 冷房期間中の点検保守作業

- 1 冷媒及び油漏れの点検
- 2 水漏れの点検
- 3 制御機器の作動試験
- 4 保守装置の作動試験
- 5 運転調整
- 6 温度測定
- 7 運転日誌による運転状況確認
- 8 電気関係絶縁抵抗測定

IV 暖房運転開始切替点検保守作業

- 1 電気関係絶縁抵抗測定
- 2 冷媒及び油漏れの点検
- 3 水漏れの点検
- 4 制御機器の作動試験
- 5 保守装置の作動試験
- 6 ファン点検
- 7 運転調整
- 8 温度測定
- 9 ファン廻りのゴミ除去

V 暖房期間中の点検保守作業

- 1 冷媒及び油漏れの点検
- 2 水漏れの点検
- 3 制御装置の作動試験
- 4 保守装置の作動試験
- 5 運転調整
- 6 温度測定
- 7 運転日誌による運転状況確認
- 8 電気関係絶縁抵抗測定

2 パッケージエアコン6台………年4回点検(四半期毎に1回)

○冷房運転開始切替点検、冷房期間中の点検、暖房運転開始切替点検、暖房期間中の点検箇所は下記の通りとする。

- 1 電気関係絶縁抵抗測定
- 2 冷媒及び油漏れの点検
- 3 水漏れの点検
- 4 制御機器の作動試験
- 5 保守装置の作動試験
- 6 ファン点検、注油、ベルト調整
- 7 フィン及びドレンパン点検清掃
- 8 エアークリナー清掃
- 9 軸受点検（給油）
- 10 運転調整並びに温度測定

◎消防設備保守管理（※3）

- 消防設備（1式）の保守管理については、機器点検（簡易点検）を年1回、総合点検を年1回、防火対象物定期点検報告を年1回実施するものとする。
なお、故障の場合は早急に復旧修理を行うものとする。

◎構内交換電話設備保守管理（※4）

- 構内交換電話設備及び内線機器等（一式）を年2回（半期毎に各に1回）保守点検を行うものとする。なお、故障の場合は早急に復旧修理を行うものとする。

◎荷物用エレベーター保守管理（※5）

- 保守点検の方式については、フルメンテナンス契約とし、荷物用エレベーター（1台）について、年12回（1か月に1回）、機器の故障未然防止処置として保守点検を行うものとする。（建築基準法に基づく定期検査を含む）
なお、故障の場合は早急に復旧修理を行うものとする。

◎エレベーター保守管理（※5）

- 保守点検の方式については、フルメンテナンス・遠隔監視メンテナンス付き契約とし、定期点検年4回（3か月に1回）、遠隔点検年12回（1か月に1回）、機器の故障未然防止処置として保守点検を行うものとする。（建築基準法に基づく定期検査を含む）
なお、故障の場合は早急に復旧修理を行うものとする。

◎自動扉装置保守管理（※6）

- 自動扉装置（4台）について、年4回（3か月に1回）、機器の故障未然防止措置として点検、給油、その他調整を行い常に機械の性能を良好な状態に維持するよう適切な処置を行うものとする。
なお、故障の場合は早急に復旧修理を行うものとする。

2 神奈川県立神奈川近代文学館保安警備等業務基準

1 目的

- (1) 神奈川近代文学館の秩序を維持するために必要な監視、管理、火災及び盗難等の予防、その他不良行為の排除等に努め、不測の事故に対する臨機応変の処置により、事故防止・有事における初動対応を行い、展示館内の秩序維持に適切な措置に努め、県民の利用等に際し、建物及び人命の安全を確保することを目的とする。
- (2) 神奈川近代文学館の来館者に対し、受付案内誘導等必要な業務を行うことにより、文学館の円滑な運営とイメージの向上に資することを目的とする。

2 警備方法等

警備方法等については、常駐方式による保安警備、遠隔移報方式による機械警備及び受付案内業務とし、その内容は次のとおりとする。

(1) 保安警備

区 分		警備基準時間	要員	備 考
保安警備	開館日（平日）	7:30～17:00	1名	
		10:00～19:00	1名	
	同（土・日・祝日）	7:30～17:00	1名	
		10:00～18:00	1名	
定期清掃日（休館日）	8:00～17:00	1名	月2回	

- ① 会議室の時間外利用がある場合は、利用時間終了(19:00～最大 21:00)まで展示館受付にて保安警備業務・利用者の案内誘導を行う。
- ② 警備基準時間の前後に業務の段取り、片づけの時間を設けること(約 30 分)

(2) 機械警備

区 分		警備基準時間	備 考
機械警備	開館日（平日）	19:00 ～ 翌日 7:30	外部巡回 1回
	同（土・日・祝日）	18:00 ～ 翌日 7:30	
	休館日	7:30 ～ 翌日 7:30	
		※翌日が定期清掃等の場合、セット解除受信後から開始までの時間は除く	

- ① 警備基準時間内に異常事態の通報を受けた場合は、速やかに神奈川近代文学館に急行し、必要な措置を執ること。
- ② 自動火災報知設備一式、ガス漏れ火災警報設備一式の遠隔監視については、警備基準時間にかかわらず、24時間監視し、発報があった時点で速やかに対応すること。(必要に応じて関係先に通報する。)
- ③ 会議室の時間外利用がある場合は、利用時間終了(19:00～最大 21:00)後、機械警備業務を開始する。

(3) 受付案内業務

区分	(勤務) 場所	勤務時間	人員
受付案内 業務	展示室 (夜間会議室)	9:00～17:30 (19:00 まで延長)	(常時) 2 名 (夜間) 1 名

- ① 展示室の開館は 9:30 からとする。
- ② 夜間会議室の利用がある場合は、最大 19:00 まで 1 名が受付案内業務を行う。
- ③ 指定管理者が展示場の開館時間の延長等を行う場合はそれに合わせた対応を取ること。

3 業務内容

(1) 保安警備業務

《巡回警備》

- ア 建物内外の定期的な巡回警備、館周辺の監視、出入者の監視、記録、受付誘導案内、定期清掃時等における出入り者の監視、記録及び定期清掃業務の履行確認
- イ 警備室内における ITV 装置や各種監視盤による監視
 - (ア) 防災諸設備の監視及び管理並びに臨機応変の措置
 - (イ) 管理区域内の異状及び施設内の異常を発見したときは速やかな連絡及び適切な措置
 - (ウ) 機械警備監視盤の監視
- ウ 不審者の侵入阻止及び館内物品の不正持ち出し阻止に係る必要な措置
- エ 暴行等緊急事態が生じたときは直ちに現場に駆けつけ、被害の拡大防止措置に努めること
- オ 事務用駐車スペースの監視及び管理
- カ 管理区域内の放置駐車車両等の監視・誘導
- キ 遺失物・拾得物の受付及び盗難届等の処理
- ク 各室の鍵の受け渡し
- ケ 定期的な館内外の巡回時においては安全を確認し、事故の未然防止
- コ 火災盗難の初期発見と予防
- サ 自動扉等の保守点検時における対応
- シ 管理区域内の異状事項・経過状況の監視記録の整備ほか

《建物内管理業務》

- ア 火災その他事故、不良行為、非常事態等に際して建物または人命の安全を図るための応急措置及び臨機応変の措置
- イ 火災等が発生したときは、消防計画に基づき、関係者に連絡し、沈着、機敏、的確に業務を遂行
- ウ その他の事故、不良行為、非常事態等に際して建物または人命の安全を図るための応急措置及び臨機応変の措置
- エ 必要な箇所の開錠並びに施錠
- オ 戸締まりの確認
- カ 火気の取り締まり及び防火、防災設備の点検
- キ エレベーター内インターホンによる緊急連絡の対応及び対応
- ク 緊急時におけるエレベーターの地震管制・火災管制・自家発管制等の設備業務担当者との協力した対応
- ケ 館内放送等の対応

- コ 非常時に対応した各種マニュアルの整備
- サ 貸し会議室の開錠及び施錠並びに状態監視
- シ 禁止行為の確認及び徹底
- ス 急患者への適切な対応
- セ 遺失物の点検その他

(2) 機械警備業務

警備内容は、自動警報警備と巡回警備の併用とする。

ア 自動警報警備

警報受信装置を間断なく監視し、巡回警備者と常に緊密な連絡を保持しながら異常事態に備える。

イ 巡回警備

外部巡回 1 回／日

巡回警備者は自動警報受信装置を監視する者と緊密な連絡を保持しながら室内及び建物外周部から異常の有無を点検する。

ウ 異常事態発生時の対応

警報受信装置により異常事態が発生したことを確知したときは、職員を速やかに急行せしめ、異常事態を確認するとともに事態の拡大防止にあたる。また、必要に応じて関係先に連絡する。

(3) 受付案内業務

- ア 来館者の受付、案内、取り次ぎ業務全般等
- イ 来館者への施設、展示内容の概略的説明
- ウ 催し物の照会等への対応
- エ 会議室利用者への利用受付・対応、案内看板の準備等
- オ 非常時における来館者の避難誘導その他
- カ 来館者や周辺の監視、展示室内の巡回、施設の秩序維持等
- キ 来館者の各種相談への対応

4 その他

- (1) 保安警備の従事者は、節度と良識を兼ね備え、その職責を会得した警備業法に定める警備員の制限に抵触しない警備能力を有する者の中でも、法令に定める講習終了後原則として3年以上の実務経験を有する者で、円満かつ責任感ある誠実な性格の持ち主で、健康・身元確実かつ臨機の対処に秀でた者とする。なお、自衛消防組織要員等防災機器による監視、機器操作に習熟した者を常時配置すること。
- (2) 受付案内業務の従事者は、文学に興味を持つ健康・身元確実かつ事務処理に秀でた者とし、期間内を通じて同一の従事者が勤務できる体制を確保することとする。
- (3) 病気その他やむを得ない理由により従事者に欠員が生じた場合は、代替りの職員を従事させなければならない。
- (4) 県は、勤務状態不良、その他の理由により不適格と認めた従事者について、従事者の変更を要求できるものとする。
- (5) 従事者の安全衛生に関する管理業務については、労働安全衛生規則等の関係法令を遵守するものとする。

- (6) 警報機器及びこれに付帯する設備は、指定管理者が設置し管理する。
- (7) 警報実施時間中に警報機器が作動不能になった場合は速やかに代替警備措置を講ずるものとする。
- (8) 警報装置の機能については、必要に応じて保守点検を行うものとする。

3 神奈川県立神奈川近代文学館清掃業務基準

1 目的

建物内及び建物周辺の適切な清掃業務を行うことにより、神奈川近代文学館の施設全体及び周辺を最適な環境状態に保つとともに建物の美観及び長期保存の増進を図ることを目的とする。

2 業務内容

(1) 清掃箇所及び面積

ア 別紙「清掃作業要求水準表」のとおりを実施すること。

イ テーブル、いす類、壁面等に付随する箇所のうち汚れが目立つ箇所については順次計画的に清掃していくこと。

(2) 清掃日時

区 分		清 掃 日	人員	開始時	終了時
日 常 清 掃		休館日及び別に指定する日を除く毎日	1名	午前7時30分	午後4時30分
			1名	午前7時30分	午後2時30分
			1名	午前7時30分	午前11時30分
定期 清掃	ワックス清掃	休館日で別に指定する日		午前9時	午後5時
	ガラス清掃	休館日で別に指定する日		午前9時	午後5時

(3) 清掃方法

ア 共通事項

(ア) 原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」最新版に従って清掃作業を行うこと。

(イ) 作業に使用する材料等は、品質良好なもので作業内容、建築材料に最も適したものを使用する。

(ウ) 作業は静粛かつ丁寧に建物器具を損傷させ、または通行人・壁・物品等にちり・ほこり・清掃用水等を飛散させないように十分注意すること。

(エ) 清掃業者に業務を委託する場合は、指定管理者が作業を点検し、完全な清掃を行うこと。

イ 日常清掃・日常業務における維持保全業務

(ア) 事務室・閲覧室・展示ホール等の清掃は毎日午前9時30分までに終了させる。ただし、必要が生じたときはその都度行うこと。

(イ) マット・くず入れ・いすその他容易に移動できるものは移動させて掃除すること。

(ウ) 便器・洗面台・浴槽・流し台・鏡・展示ケース等のある室は、それらの清掃も含むものとする。特に便器は、ブラシなどを使用して尿石等が付着しないよう努める。展示開催時間中は適時巡回し、各所の汚れの除去に努めること。

(エ) 女子便所の汚物を処理し、容器は水洗いすること。

(オ) 便所のトイレトペーパー及び手洗用石けんは常にその補充をしておくものとする。

(カ) くずかごのゴミ及び茶殻・吸い殻等を収集し、各階から集積しておく。集積場は常に清潔にし、ネズミ・害虫・悪臭等の発生しないように注意すること。

(キ) ごみの分別収集・廃棄に努め、古紙回収時においても積極的に協力すること。

(ク) ジュータン・カーペットは必要に応じて日常清掃においてもクリーナー、掃除機等を用いて清掃する。

ウ 定期清掃業務

(ア) ワックス清掃

事務室等各室の清掃は、移動できる家具は移動し、砂・泥・ゴミ等を掃き取ってから洗剤（合成洗剤を除く）で洗浄し、汚れを十分拭き取った後、樹脂ワックスを塗布しつや出し仕上げを行うものとする。なお、別紙「清掃作業要求水準表」において、2か月に1回の清掃となっている箇所については、ワックスの塗布を最低2回行い、より入念に仕上げるものとする。

(イ) ガラス清掃

ガラス清掃は執務及び各室の利用に支障のないよう静かに行い、作業にあたっては危険のないよう十分注意すること。なお、別紙「清掃作業要求水準表」において、2か月に1回の清掃となっている箇所については、ガラスの洗浄を最低2回行い、より入念に仕上げるものとする。また、ガラス飛散防止フィルムが貼ってある場所については、傷が付かないよう十分注意すること。

(ウ) マット交換

衛生管理のため、通用口のマットの交換作業を下記のとおり実施する。なお、週に1度はマットの掃除機掛けを実施するものとする。

配置場所	寸法	交換頻度
本館1階東口玄関	90cm×150cm	2回/1月
展示館1階入口玄関	80cm×150cm	2回/1月
本館1階西口玄関	90cm×150cm	1回/1月
展示館B1資料室前	90cm×150cm	1回/1月
展示館B1書庫前	90cm×150cm	1回/1月
新館B2書庫前	90cm×150cm	1回/1月

3 その他

- (1) 清掃業務の従事者は、担当業務に精通するとともに常に規律を守り、品位を保ち、明朗かつ誠意を持って、入館者及び公園散策者等に接し、礼儀正しく応対するように心がけ、不快な思いやトラブルを生じないように、言葉遣いや服装、姿勢等に特に注意すること。
- (2) 病気その他やむを得ない理由により従事者に欠員が生じた場合は、代替りの職員に従事させなければならない。
- (3) 県は、勤務状態不良、その他の理由により不適格と認めた従事者について、従事者の変更を要求できるものとする。

清掃作業要求水準表

階	室名	面積 (㎡)	床材質	日常清掃					定期清掃		
				床掃き・壁ふき	床モップ	床水ふき	床空拭	その他	洗いワックス	水洗いたわし等	ガラス
本館 1F	閲覧室	72.2	モルタル ゴムタイル	○	○				1/月		1/月
	電算室	39.2	タイルカーペット	○				○			1/2月
	前室1 来館者用トイレ部	6.64	モルタル ゴムタイル	○	○			○	1/月		
	エレベーターホール	4.51	同上	○					1/月		
	西玄関ホール	36.56	同上	○					1/月		1/月
	附室	6.3	モルタル ビニールタイル	○					1/月		
	図書整理事務室	108	同上	○				○	1/2月		1/2月
	研究室	10.6	同上	○					1/2月		1/2月
	荷解室	32.3	同上	○					1/2月		1/2月
	シャワー室	4.1	同上	○	○					1/月	
	用務員室	13.3	同上 一部畳	○				○	1/2月		1/2月
	警備室	44.4	モルタル ビニールタイル	○				○	1/2月		1/2月
	前室2 職員用トイレ部	8.35	同上	○				○	1/2月		
	男子・女子便所1	14.85	塗膜防水・モルタル ビニールシート	○		○		○	1/月		1/2月
	身障者便所	5.13	同上	○		○		○	1/月		1/2月
	男子・女子便所2	16.83	同上	○		○		○	1/月		1/2月
	風除室(西)	9.35	アスファルト防水軽量コンクリート レンガタイル	○						1/月	
	西玄関	14.41	同上	○						1/月	
	東玄関	15.36	同上	○						1/月	1/月
	風除室(東)	16.08	アスファルト防水軽量コンクリート 花崗岩パーナー仕上	○						1/月	
ロッカー室	8.76	同上	○						1/月		
附室	8.76	モルタル ビニールタイル	○					1/2月		1/2月	
新聞・雑誌コーナー 検索コーナー ロビー(含カウンター)	153.1	モルタル ゴムタイル	○	○			○	1/月		1/月	
本館 2F	管理事務室	168.9	モルタル ビニールシート	○				○	1/2月		1/2月
	休憩室	24.8	同上	○				○	1/2月		1/2月
	湯沸室	9.8	塗膜防水・モルタル ビニールシート	○				○	1/2月		1/2月
	廊下	65	モルタル ゴムタイル	○					1/2月		
	エレベーターホール	4.51	同上	○					1/2月		
	男子・女子便所	36	塗膜防水・モルタル ビニールシート ゴムタイル	○		○		○	1/月		1/2月
	前室	50	モルタル フェルトカーペット	○				○			1/2月
	会議室	72	同上	○				○			1/2月
	特別会議室	63.6	同上	○				○			1/2月
	館長室	38.2	同上	○				○			1/2月
	応接室	22.5	同上	○				○			1/2月
	連絡通路	48.97	モルタル ビニールシート(スロープ 部リム付ビニールシート)	○					1/2月		
本館 B3	附室	26.71	モルタル ビニールタイル	○					1/2月		
	エレベーターホール	9.06	同上	○					1/2月		

階	室名	面積 (㎡)	床材質	日常清掃					定期清掃		
				床掃き・壁ふき	床モップ	床水ふき	床空拭	その他	洗いワックス	水洗いたわし等	ガラス
本館 B2	附室	13.22	モルタル ビニールタイル	○					1/2月		
	エレベーターホール	9.06	同上	○					1/2月		
本館 B1	附室	13.22	同上	○					1/2月		
	エレベーターホール	9.06	同上	○					1/2月		
本館	階段 B3～2F(中央部)	62.79	同上	○					1/2月		
	階段 1F～2F(南側)	13	モルタル コムタイル	○					1/2月		
展示館 B1	前室	10.8	同上	○					1/月		
	ホール	23.04	同上	○					1/月		
展示館 1F	展示室2, 3	473.3	同上	○					1/月		1/月
	休憩コーナー	34.2	同上	○			○	○	1/月		1/月
	ロビー	106.7	同上	○				○	1/月		1/月
	男子・女子便所	17.64	塗膜防水・モルタル ビニールシート	○		○		○	1/月		
	身障者便所	4.84	同上	○		○		○	1/月		
	玄関及び玄関通路	105.23	アスファルト防水軽量コンクリート レンガタイル	○						1/月	1/月
展示館 2F	ホール	190.54	モルタル ナラモサイクバケット フェルトカーペット	○				○			1/月
	準備室	10.86	モルタル ナラモサイクバケット 一部カーペット	○			○		1/月		1/月
	椅子庫	15.21	モルタル ニードルパンチ 一部カーペット	○							
	ロビー(廊下を含む)	209.1	モルタル コムタイル	○				○	1/月		1/月
	男子・女子便所	21.65	塗膜防水・モルタル ビニールシート	○		○		○	1/月		1/月
	小会議室	36.2	モルタル コムタイル	○				○	1/月		
	中会議室	98.8	同上	○				○	1/月		1/月
	湯沸室	3.9	モルタル ビニールシート	○	○				1/月		
	和室	57.7	畳(15畳)	○			○	○			1/月
	水屋 踏込	21.4	フェルトカーペット 玄昌石 四半敷	○				○	1/月		
	バルコニー	156.14	レンガタイル	○						1/月	
展示館	階段(B1～2F)	24.96	モルタル コムタイル	○					1/月		
増築	展示室1	129.03	同上	○					1/月		
展示館	エントランスホール	91.68	同上	○					1/月		1/月
	風除室	5.47	花崗岩バナー仕上げ	○					1/月		1/月
	B1廊下	79.6	モルタル コムタイル	○					1/2月		
	B1前室	16.56	モルタル ビニールシート	○					1/2月		
	B2搬入口ロビー	44	同上						1/2月		
建物外回り								適			
合計		3398.04									

- (1) 「その他」とは、茶がら・汚物等の処理等をいう。
- (2) 「適」とは、その状況等を考慮し、適切な時期等に清掃する。
- (3) 「床掃き・壁ふき」には、蛍光灯回り、ロッカー等の天板ふきも含まれる。
- (4) 「建物外回り」は、近代文学館管理区域内の通常清掃を指す。

4 神奈川県立神奈川近代文学館電算システム保守管理業務基準

1 目的

神奈川県立神奈川近代文学館が実施している蔵書資料整理のシステムを保守し円滑に運営していくことを目的とする。

2 業務内容

【ハードウェア保守管理】

(1) データベースサーバ

サービス内容	当日訪問修理（4時間対応、HD返却不要）による年間保守
コール受付時間帯	24時間 365日
サービス時間帯	09:00～17:30

(2) ネットワーク機器

サービス内容	ネットワーク復旧サービス、ファイアーウォール、暗号化アクセラレータ、アンチスパム・アンチウィルス等の年間オンサイト保守
コール受付時間帯	24時間 365日
サービス時間帯	09:00～17:30

【ソフトウェア保守管理】

○データベースサーバ

○OSアップデート権

蔵書管理システム 基本サポート

蔵書管理システム オプションサポート

○ファーストコール受付（1式）

提供されるサービス 土日コール対応
サービス時間帯 09:00～17:30

○技術支援サービス（1式）

提供されるサービス 技術支援サービス
サービス時間帯 09:00～17:30

【保守管理の範囲】

○上記保守管理対象機器及びソフトを良好な状態に保つための定期保守、緊急保守。

- ① 各機器の障害・故障の復旧。
- ② 各機器の運用に関するテレフォンサポート。
- ③ システム障害発生時の原因特定のための調査（ハングアップ等）。
- ④ プログラムに異常が認められた場合のバグ修正。
- ⑤ データに異常が認められた場合の原因特定のための調査。
- ⑥ OSに重大な不具合が発生した場合、セキュリティーホールが見つかった場合のバージョンアップ。
- ⑦ システム障害発生時の復旧（導入時の環境を再現）。

○蔵書管理システムおよびweb-opacシステムサービスの詳細

・基本サポート

定期保守、緊急保守に加え、

- ① 日常的なリモート管理及び監視
- ② サーバーのジャーナルトラブル時の応急手当。
- ③ 運用環境サマリーの送付。（変更点等発生した場合）

・オプションサポート

作業工数については作業の発生の都度協議して決定。

- ① OS、プログラム言語のバージョンアップに伴うコーディングの修正。
- ② ディスク増設、バックアップ装置増設等に伴うバックアップ・コマンド・プログラムの変更。
- ③ 機器等の運用・機能改善に関する助言、コンサルテーション及び各種研修等。
- ④ 機器等の運用・機能改善等を目的としたプログラム変更及び作成。
- ⑤ ユーザーアカウントの登録・削除。
- ⑥ データベース領域の拡張。

5 神奈川県近代文学館の施設利用予約システムについて

本施設の施設利用予約システムは、e-kanagawa施設予約システム（以下、「本システム」という。）を使用していただくことになっています。

本システムを使用するにあたって、システム自体の利用料はかかりませんが、本システムを使用するための設備の導入及び運用のための経費について、次のとおり、指定管理者に負担していただくこととなります。

応募にあたっては、経費の見積りに含めていただくようお願いいたします。

1 導入準備

(1) 機器等の導入

インターネット経由で本システムを使用するため、次の機器を導入すること。

- ・利用者用端末（以下、「窓口端末」という） 1台以上（※機器の条件参照）
- ・職員側管理用パソコン（以下、「職員端末」という） 1台以上（※機器の条件参照）
- ・ページプリンタ 1台以上（※機器の条件参照）
- ・ネットワーク機器（パソコンの台数等に応じ、必要であれば、ルータ、HUB等）

(2) インターネット接続環境の整備

職員端末及び窓口端末をインターネットへ接続するため、ブロードバンド回線の導入及びプロバイダとの契約を行うこと。

- ・職員端末を本システムに接続するため、固定のグローバルIPアドレスを取得すること。（実際に使用を開始する1か月前までにグローバルIPアドレスをシステム管理者に通知する必要があることから、導入手続の時期について注意すること。）
- ・窓口端末と職員端末の回線を分離すること。

2 運用経費

(1) インターネット接続経費

プロバイダへの支払い等

(2) 機器等の経費

リース料、保守料等の経費

(3) 消耗品等の経費

プリンタトナー等の経費

用紙代（利用者登録書、利用承認書、減免申請書、減免承認書、領収書、内部統計用帳票等の出力のため）

※ 機器の条件

○利用者用端末（窓口端末）

- ・1台以上
- ・Windows11の環境が使用できること。
- ・Microsoft Edgeが動作すること。ゾーン設定、セキュリティレベル設定が可能であり、信頼済みサイトに登録が可能であること。
- ・公共施設利用予約システムの利用者側機能以外の機能が、利用できないように設定できること。

○職員側管理用パソコン（職員端末）

- ・1台以上
- ・Windows11の環境が使用できること。
- ・Microsoft Edgeが動作すること。ゾーン設定、セキュリティレベル設定が可能であり、信頼済みサイトに登録が可能であること。（Chrome、Fire Fox、Operaでも利用可能）
- ・以下のプログラムがインストールされていること。
Microsoft .NET Framework3.5または4.5の実行環境

Microsoft .NET Framework3.5または4.5の日本語パッケージ
eG-Reserve 帳票ランタイム

○ページプリンタ

- ・ 1 台以上
- ・ A 4 判普通紙が出力できること。

〔参考〕神奈川県立近代文学館所蔵資料の概要

1 資料収集状況

(1) 年度別収集状況

区 分	令和3年度	4年度	5年度
寄贈によるもの			
図 書	1,796 冊	2,012 冊	2,853 冊
雑 誌	3,243 冊	2,522 冊	3,012 冊
特別資料	1,136 件	917 件	7,670 件
購入によるもの			
図 書	292 冊	317 冊	337 冊
雑 誌	2,090 冊	1,607 冊	1,163 冊
特別資料	5 件	3 件	35 件
複製品の製作 (原稿、書簡、色紙等)	6 件	4 件	3 件

(2) 主な収蔵資料

名 称	内 容
夏目漱石特別コレクション	1,279点。「永日小品」「文学論」「道草」「素人と黒人」「文学評論」などの草稿・原稿、子規へ送りたる句稿、野間真綱、野村伝四ら宛書簡、「あかざと黒猫図」「うつ畑に…」など書画、写真、文書類、初版本、漱石山房に残されていた文机、落款印、文具など。
藤田圭雄文庫	30,450点。藤田の詩や童謡などの原稿のほか、竹山道雄「ビルマの竖琴」など諸家原稿、挿絵原画、阪田寛夫や野上弥生子らの来信など、長い編集者生活の中での文学者との交流により遺された資料。振興会創立以来定期的に寄贈された児童図書雑誌も多数。
獅子文六文庫	3,630点。代表作「大番」「箱根山」ほか原稿、創作ノートや滞欧時代の観劇ノート、書簡、台本、肖像写真、著書や演劇関係を含む旧蔵書などのほか、宮田重雄画の獅子肖像なども。
滑川道夫文庫	44,060点。「穎才新誌」「今世少年」「少年世界」「童話時代」などの児童雑誌、巖谷小波の初版本やちりめん本など明治以降の児童文学、文化についての42,000冊に及ぶ図書・雑誌コレクション。また榎本楠郎原稿181点などもある。
尾崎一雄文庫	43,730点。「あの日この日」「すみっこ」「まぼろしの記」ほかの尾崎原稿や、「早稲田文学」「風報」掲載の諸家原稿、尾崎士郎、太宰治など諸家書簡、肖像写真、碁盤や印ほか愛用の品、旧蔵書のほか、尾崎収集資料を含む志賀直哉コレクションも。
杉本三木雄文庫	11,350点。歌人・杉本三木雄の旧蔵資料。与謝野晶子「私の死生観」原稿のほか、主として神奈川県内の歌人の歌集や同人誌など。北原白秋主宰の「多磨」「芸術」などの創刊号を含む。
神西清文庫	2,580点。「少年」ほか原稿や創作ノート、チャーホフ作「犬を連れて来た奥さん」「ブーニャ伯父さん」ほか訳稿、親友・堀辰雄をはじめ、有島生馬、中里恒子、横光利一らの来信、有島生馬油彩画、「鉢木会」連歌帖など。神西の著訳書を中心とする旧蔵書も。

木下杢太郎文庫	13,670点。「異人館遠望の曲の序」、「地下一尺」原稿や北原白秋「おかる勘平」、永井荷風「西班牙料理」などの諸家原稿、日記、ノート、書簡、「百花譜」をはじめデッサンや筆墨、キリシタンや医学関係を含む旧蔵書など。
大野林火文庫	5,390点。俳誌「濱」を主宰した俳人・大野林火の旧蔵資料。『青水環』ほかの原稿、句帖、連句帖や落款印、林火および臼田亞浪、秋元不死男らの書のほか、句集、主宰誌「濱」など。
関英雄文庫	6,360点。日本児童文学者協会の設立に寄与し会長も務めた関の、日本児童文学の一側面を伝える資料。千葉県三、坪田譲治、楨本楠郎ほか児童文学者仲間の書簡や書画、肖像写真のほか、参加した同人誌「童話新潮」「童話草紙」などの児童雑誌や旧蔵書など。
福本和夫文庫	7,350点。14年間の獄中での思索を記録したノートやメモ、戦後の『北斎と写楽』『日本工業の黎明期』『日本ルネッサンス史論』などの原稿、石見尚ほかの来信、福本の書画、旧蔵品など。旧蔵書や梶研究関係資料もある。
那須辰造文庫	9,150点。童話や評論の原稿、有島生馬、福士幸次郎ら諸家書簡、旧蔵書など。児童文学の創作や海外作品の翻訳のほか、能楽に造詣が深く鑑賞家でもあったことから能関係の雑誌も多い。
藤森成吉文庫	3,040点。初期の著作や「少年峯山」、詩集『火花』などの原稿、少年・青年時代の作文や画帖、郭沫若、窪田空穂、鈴木三重吉らの来信と旧蔵書。藤森夫人の伯父である岡倉天心の机もある。
高木健夫文庫	23,060点。新聞人・高木がライフワーク『新聞小説史』の執筆材料として収集した、明治から戦後までの新聞小説切抜帳をはじめ、「東京日日新聞」ほか錦絵新聞、中国・朝鮮関連の旧蔵書など。
広津柳浪・和郎・桃子文庫	14,080点。作家三代の資料。柳浪関係は、「雨」ほか原稿や日記、尾崎紅葉や幸田露伴らの来信、硯友社同人寄書など。和郎関係は宇野浩二らの来信、松川事件資料など。桃子関係は日記、網野菊書簡など。親子間の書簡や旧蔵書も。
勝呂忠文庫	3,410点。ハヤカワポケットミステリに代表される、洋画家・勝呂忠装幀の図書やカット掲載雑誌など。アメリカ探偵作家クラブ賞の美術部門特別賞受賞作などの原画もある。
添田啞蟬坊・知道文庫	23,560点。啞蟬坊が主宰する演歌組合などから刊行された演歌本、知道の「小説教育者」ほか原稿や戦中戦後の日記、知道創刊の「素面」掲載の諸家原稿など。家族間の書簡や川端康成、山本周五郎らの知道宛書簡も多数。「茶太樓新聞」ほか旧蔵の新聞も。
鈴木三重吉・赤い鳥文庫	2,270点。「桑の実」などの初期作品をはじめ「ぼっぽのお手帳」『湖水の女』『世界童話集』など三重吉作品を網羅する原稿多数のほか、芥川龍之介、北原白秋、夏目漱石らの三重吉宛書簡と三重吉の家族宛書簡、「赤い鳥」挿絵原画、著書、「赤い鳥」全冊など。
井上靖文庫	15,960点。初期詩稿や「闘牛」「しろばんば」、最晩年の代表作「孔子」など原稿約800点、西域旅行の克明な記録ノートや、取材・創作ノート類、川端康成、東山魁夷など幅広い分野にわたる諸家書簡、執筆関連記事切抜帖など。旧蔵書約8,000冊も。

大岡昇平文庫	13,340点。「俘虜記」「花影」「レイテ戦記」などの代表作原稿や「武蔵野夫人」「狂人日記 野火」などの創作ノート、加筆訂正が施された校訂本、ライフワークとした富永太郎、中原中也研究のメモなどのほか、旧蔵書、遺品を含む大岡の文学活動の全容を伝える資料。
尾崎秀樹文庫	11,080点。『魯迅との対話』『大衆文学の理論』『ゾルゲ事件戦後五〇年』のほか、作家解説や書評を中心に原稿約1,500点。今日泊亜蘭、高垣眸、吉村昭ら諸家書簡約3,800通、「苦楽」「シュピオ」など旧蔵雑誌も。
中川孝収集実篤文庫	18,490点。実篤と親交のあった中川が60年にわたって収集した資料で、「その妹」「井原西鶴」などの原稿、実篤の発信及び宛書簡、自画像ほか実篤の書画、執筆・関連記事切抜、遺品など。著書や芸術関係などの図書、「白樺」をはじめその衛星誌などの雑誌も多数。
中西悟堂文庫	4,670点。歌集『安達太良』や詩集『東京市』などの著書をはじめ多岐の分野に亘る蔵書、詩誌、歌誌など。野鳥研究家でもあった中西が創刊した機関誌「野鳥」と、同誌掲載の北原白秋、高村光太郎、尾崎喜八、荻原井泉水ら諸家原稿も。
中里恒子文庫	7,440点。芥川賞受賞作「乗合馬車」草稿、『わが庵』『時雨の記』『綾の鼓 いすばにやの土』ほか原稿、宇野千代、岡鹿之助、川端康成、神西清ほか文学者らの来信、川端、横光利一、堀辰雄らの書画など。肖像写真、文房具ほかの旧蔵品、旧蔵書なども。
安岡章太郎文庫	6,130点。「野の声」「相も変わらず」「流離譚」（部分）ほか原稿、庄野潤三、吉行淳之介、遠藤周作、島尾敏雄ら〈第三の新人〉をはじめとする諸家書簡、井伏鱒二画安岡像、佐藤春夫書軸、「流離譚」や「鏡川」執筆資料、写真、著書など。
近藤東文庫	21,880点。「レニンノ月夜」書き直し詩稿や『軍艦』『風俗』『歳月』などの詩集原稿のほか、伊藤信吉、竹中郁、春山行夫など詩友らの来信など。旧蔵書は「ゲエ・ギムギガム・プルルル・ギムゲム」「MADAME BLANCHE」ほか日本近代詩史上貴重な詩誌や稀観本を多く含む。
中村光夫文庫	4,670点。「パリ繁昌記」「贗の偶像」ほか原稿、三島由紀夫ら諸家書簡、写真、幕末明治開化期資料ほかの旧蔵書など。特にライフワークである二葉亭四迷研究のために収集した「平凡」ほか原稿、「落葉のはきよせ」ほか自筆資料など、約150点の二葉亭コレクションは注目される。
楠本憲吉文庫	17,520点。正岡子規、高浜虚子の著作をはじめ明治から昭和に至る句集、俳句研究の参考文献や叢書類、「俳諧」「車百合」ほか明治期の貴重な俳誌などのコレクション。稀観本『俳句二葉集』も含まれる。楠本の初期句稿や大学院時代の自筆資料、山口誓子の書なども。
堀辰雄文庫	890点。仏・独・英文学など堀旧蔵の洋書と洋雑誌。プルースト、リルケらの著作、研究書には傍線や書き入れも多く、芥川龍之介の署名がある図書も含む。
埴谷雄高文庫	12,620点。畢生の大作「死霊」の原稿・草稿・創作メモを軸に、埴谷から母アサ宛の獄中書簡や荒正人、本多秋五「近代文学」同人をはじめとする諸家書簡、少年時代の絵画・習字、拘留関係文書など。カメラ、碁盤などの愛用品もある。
長篠康一郎収集太宰治文庫	710点。太宰治の研究に半生を捧げた研究者・長篠が集めた、太宰の編集者宛書簡、分家除籍の「覚」や東京帝国大学の学生証など太宰の前半生に関する文書類など。太宰の初版本、初出誌、研究書なども。

中藺英助文庫	8,370点。 文壇的処女作「烙印」や『北京飯店旧館にて』『鳥居龍蔵伝—無冠の人類学者』、遺作となった『南蛮仏』などの代表作原稿、創作ノートやメモのほか、GHQ関連文書など膨大な執筆用資料、島尾敏雄、野間宏、埴谷雄高ら諸家書簡など。
堀田善衛文庫	13,080点。 「広場の孤独」「ゴヤ」など初期作品から晩年までの原稿、草稿、創作ノート、手帳、書簡や、原書を含む旧蔵書。詩人として出発した堀田の原点を示す未発表詩稿や、上海日記、スペイン滞在時の日記、柄澤齊画『聖者の行進』装幀原画なども。
中島敦文庫	5,810点。 「かめれおん日記」「弟子」「光と風と夢」「李陵」などの原稿・草稿や「河馬」ほか歌稿、深田久弥ら諸家書簡や敦の家族宛書簡、書画、遺品類など。敦の祖父・中島撫山らの関連資料も。
野間宏文庫	85,270点。 「暗い絵」「真空地帯」「青年の環」など代表作を含む原稿、草稿、戦前から戦後にかけての日記や手帳、富士正晴ら諸家書簡のほか、「三人」「黄蜂」などの雑誌、文学はもとより思想、歴史、社会科学など多分野にわたる膨大な旧蔵書。
庄野潤三文庫	6,700点。 「絵合せ」「丘の明り」「鍛冶屋の馬」「ピアノの音」「逸見小学校」ほか原稿、庄野宛井伏鱒二、小沼丹、阪田寛夫、司馬遼太郎、島尾敏雄、庄野英二、安岡章太郎、吉行淳之介ほか諸家書簡、松本静泉宛庄野潤三書簡、スケッチ、写真、著書など。
中野孝次文庫	3,980点。 「麦熟るる日に」「ハラスのいた日々」「清貧の思想」「ガン日記」などの原稿や「はみだした明日」ほかの創作ノート、読書ノートや日記。敬愛した尾崎一雄や大岡昇平らを含む諸家書簡、落款印、水差しなどの遺品も。
荻原井泉水文庫	12,580点。 「俳壇最近の傾向を論ず」などの俳論、句稿、句帖、書画に加え、11歳から亡くなる8日前まで続けられた日記約350冊など井泉水の生涯にわたる資料。河東碧梧桐ら「層雲」創刊号に寄せられた諸家原稿、碧梧桐や種田山頭火からの書簡なども。
西條八十文庫	13,210点。 詩、翻訳、童謡、童話、少女小説など多岐にわたる分野の原稿、仏文学講義ノート、ランボー関係創作ノート、八十の家族宛書簡と諸家書簡などのほか、『砂金』『一握の玻璃』などの著作や、諸家の詩集、洋書、「詩王」「詩聖」など貴重な詩雑誌を含む旧蔵書など。
立原正秋文庫	1,720点。 「薪能」など初期作品から「舞いの家」「きぬた」など121点の原稿のほか、小川国夫をはじめ岡松和夫、藤枝静男、本多秋五、吉行淳之介など親交の深かった文学者からの書簡など。また著書、執筆誌、旧蔵書や、木刀や帽子などの品もある。
寺田透文庫	11,800点。 「道元」解説、「正法眼蔵随想」『バルザック』などの評論原稿、大岡昇平、埴谷雄高、三島由紀夫ほか諸家書簡、横浜を描いたスケッチブック（『わが横浜』）などのほか、著書をはじめ、内外の古典から近代文学、哲学、思想、美術にいたる膨大な旧蔵書がある。
吉野秀雄文庫	11,760点。 処女歌集『天井凝視』から『寒蟬集』『早梅集』など全歌集の歌稿、『鹿鳴集歌解』草稿、15歳から亡くなるまでの日記約100冊、はつ子夫人への手紙190通、高橋元吉、中村琢二、宮崎丈二ら諸家書簡約2,000通など。様々な書き入れのある旧蔵図書や雑誌も。

吉屋信子文庫	3,750点。 少女時代の草稿「寂しき羊」や句稿、句帳や「空の彼方へ」ほか創作ノート、宇野千代、瀬戸内晴美ら諸家書簡、吉屋の書及び諸家筆の短冊や揮毫帳、著書など。万年筆、硯箱、着物などの愛用品や愛蔵のマリア観音なども。
金達寿文庫	10,650点。 「朴達の裁判」「行基の時代」ほか原稿、「太白山脈」ほかの創作ノートやメモ、金史良、佐多稲子、司馬遼太郎らの来信、執筆資料の印刷物、執筆誌切抜、愛蔵の朝鮮民具など。旧蔵書は執筆資料の歴史書や韓国・朝鮮関連などが多い。
中山義秀文庫	1,320点。 「咲庵」「戦国史記」「芭蕉庵桃青」などの原稿、戦前から亡くなるまでの日記、川崎長太郎、川端康成、清水崑、真杉静枝、横光利一ら知友からの書簡など。小林秀雄の弔辞、鎌倉文士たちと興じた麻雀牌や着物などの旧蔵品もある。
黒岩重吾文庫	3,920点。 「背徳のメス」などの現代小説、「天の川の太陽」「闇の左大臣」など古代史小説の原稿のほか、江戸川乱歩ほか諸家書簡、創作ノート、愛用の万年筆などの旧蔵品。作家からの献呈本を中心とした旧蔵書も。
三浦哲郎文庫	820点。 「愛しい女」「柿の蒂」「百日紅の咲かない夏」「少年讃歌」「白夜を旅する人々」ほかの原稿、創作ノート、小沼丹、井伏鱒二ほか諸家書簡、司修制作『わくらば』表紙モザイク原画、舞台・ドラマ化作品の台本、同人誌「非情」など。
河野多恵子文庫	1,830点。 「幼児狩り」「不意の声」「みいら採り獵奇譚」「後日の話」(後半)ほか原稿、「ためしざら」「谷崎潤一郎論T夫人聞き書き控帳」などの創作ノート、日記のほか、佐多稲子、谷崎松子、谷沢永一、丹羽文雄、野上弥生子ら諸家書簡、夫・市川泰がニューヨークから送った絵はがきや市川画河野多恵子像など。
吉田健一文庫	5,710点。 『文学が文学でなくなる時』、「瓦礫の中」(部分)、絶筆となった「桜の木」ほか原稿、手帳、大岡昇平、福田恆存、三島由紀夫ら鉢木会をはじめ、河上徹太郎、福原麟太郎ほか書簡、「鉢木会」連歌帖、遺品などのほか、久生十蘭「母子像」草稿(他筆)なども。
佐藤さとる文庫	1,580点。 「手のひら島の物語」「天狗童子」ほか草稿・原稿、創作メモ、佐藤宛あまんきみこ、いぬいとみこ、平塚武二ほか諸家書簡、『だれも知らない小さな国』出版記念会の寄書、書画、写真、著書、「豆の木」ほか掲載誌など。
橋本治文庫	4,180点。 「双調平家物語」「草薙の剣」ほか原稿、東京大学駒場祭ポスターや切り絵の原画、橋本宛諸家書簡、橋本制作のセーター、編み図、著書、執筆誌など。

松崎鉄之介資料	4,150点。 大野林火、高浜虚子、水原秋桜子ら俳人の書、河東碧梧桐、飯田龍太らの書簡など。また加藤楸邨らの自筆句入りの献呈署名本など諸家句集、大野林火のあとを継承して主宰した「濱」ほか句誌なども多数。
土師清二資料	730点。 戯曲や随筆原稿、山岡荘八らとの小説勉強会「山の会」記録ノート、俳句などの書、執筆紙誌切抜のほか、著書や文楽関連の蔵書など。購入資料として、「池袋梟日記」絶筆原稿なども。
山本周五郎資料	470点。 「青べか物語」「赤ひげ診療譚」「虚空遍歴」などの原稿、日記、創作ノート、土岐雄三宛書簡、妻・きんに贈った書のほか、今井達夫や進藤隆宛書簡、著書、舞台・ドラマ化作品の台本など。
渾大防小平資料	450点。 推敲の跡が見える「街の霧」ほか原稿や、未発表原稿、創作ノート、師

	事していた里見弴からの書簡、晩年の闘病日記、写真、里見弴著書などの蔵書。
前田夕暮資料	280点。 夕暮に師事した歌人の高松光代に宛てた書簡のほか、肖像写真、著作、夕暮創刊の短歌雑誌「詩歌」など。購入資料として、増田絲畔宛及び斎藤清衛宛書簡30通もある。
村井弦斎資料	4,790点。 代表作「食道楽」ほかの草稿やノート、『Hana』（英文）の日本語による草稿、480余通の多嘉子夫人宛書簡のほか、矢野龍溪、水野年方など諸家書簡、日記、著書ほか旧蔵書など。長女で登山家の村井米子関係資料も多数。
福田正夫資料	1,410点。 「純粹希求」「光の種子」や川崎長太郎「福田さんのこと」ほか原稿、書簡、書画、第一詩集『農民の言葉』『未墾地』などの著書、雑誌「民衆」「焰」「どんぐり」など。また「民衆」17号（購入）も所蔵。
新聞連載小説資料	791点。 学芸通信社が地方紙に配信した、池波正太郎「蝶の戦記」や尾崎士郎「塙団右衛門」など小説の原稿、挿絵原画、新聞切抜。福嶋三郎氏及び横浜市中央図書館寄贈の「朝日新聞」「毎日新聞」「読売新聞」など連載小説切抜390点もある。
小巻豆城資料	1,070点。 豆城自身の句を揮毫した短冊、色紙のほか、師事した伊東月草、金尾梅の門をはじめ、秋元不死男、大須賀乙字、高浜虚子ら諸俳人の書画など。同人として参画した「草上」「草原」「季節」や、主宰した「うらなり」「海光」などの俳誌も。
松永浩介資料	5,430点。 詩稿や詩作ノート、『一兵士の戦中通信』に収められた家族宛書簡、松永宛諸家書簡や書などのほか、詩歌関係を中心とする図書、雑誌。
里見弴資料	20点。 文机や、印、硯、筆記具など愛用の品々をはじめ、「嗚呼 我が愛する麴町」原稿など。購入資料として「大地」（「安城家の兄弟」）などの原稿、書画、書簡などもある。
演劇資料	7,700点。 前進座、文学座、俳優座、新協劇団など新劇関係のほか、小劇場、児童劇や人形劇までを含む戦後新劇の台本、パンフレット、チラシ、ポスター類、各劇団の機関誌などの上演資料。
小林純一資料	4,580点。 詩稿や「みんな仲よし世界の子ども」放送台本原稿のほか、異聖歌、与田準一など童謡詩人らからの書簡、茂田井武の画帖など。また「コドモノクニ」「チチノキ」「お話の木」など児童文学関係雑誌などの蔵書も。
邦枝完二資料	430点。 代表作「お伝地獄」の続編「お伝情史」の舞踊劇原稿など作品の舞台化関係資料や執筆誌の切抜、著書を中心に旧蔵書など。購入資料に「御殿女中」ほか原稿や書なども。
坂本一亀資料	5,680点。 河出書房「文芸」編集長だった坂本一亀宛の、川端康成、立原正秋からの書簡、川端康成らの全集解説などの原稿、諸作家の署名入り献呈本など。
北林透馬資料	5,130点。 横浜のモダンな風俗を小説に描き続けた透馬の、原稿、戦中ほか日記、劇作家の夫人・北林余志子（本名・清水ヨシ）の原稿、夫妻宛の諸家書簡など。
古沢太穂資料	6,380点。 梅崎春生「人も歩けば」、池波正太郎「おれの足音」原稿、師・加藤楸邨をはじめ、秋元不死男、岩藤雪夫、山口誓子ら書簡、手書き回覧雑誌「椎」、山崎方代、平塚武二ほか揮毫「太穂帖」、句集、俳誌「藤」「道標」など旧蔵書。
中島可一郎資料	9,520点。 金子光晴『若葉のうた』、「そろそろ近いおれの死に」原稿、同人誌「いささか」編集資料など光晴関係資料のほか、飯島耕一、茨木のり子、金子光晴、三好豊一郎らの書簡、詩誌「木靴」「ドラムカン」など詩歌関係旧蔵書。

佐多芳郎資料	330点。 山本周五郎「縦ノ木は残った」「天地静大」、大仏次郎「炎の柱」「桜子」、吉屋信子「徳川の夫人たち」などの、佐多による連載小説の挿絵原画と掲載紙類。また佐多が装幀・挿絵を手がけた図書も。
子母沢寛資料	580点。 「父子鷹」などの創作メモや、絶筆「鯨の沖なます」ほか原稿、中尾進画「おとこ鷹」挿絵原画帖、愛用の文房具、著書を中心とする旧蔵書など。購入資料として「愛猿記」ほか原稿もある。
長島三芳資料	2,330点。 長島三芳「詩歌日記昭和十五年」、壺井繁治らからの氏宛書簡、巖谷小波、草野心平、三好達治らの書幅、戦後出版の詩雑誌や詩集など。
長崎源之助資料	640点。 長崎源之助「とうちゃんの凧」原稿、諸家書簡、「豆の木」創刊記念の寄書、村上勉画『でんしゃにのったかみひこうき』『みみずくばあちゃん』挿絵原画、布絵本、「豆の木」揃いを含む執筆誌、著書など。
北原武夫資料	520点。 原稿、「告白的女性論」ほかの創作ノート、宇野千代、小林秀雄らからの書簡、愛用品、著書を中心とした旧蔵書、雑誌など。安岡章太郎らからの弔辞も。
北村初雄資料	460点。 遺稿詩集『樹』原稿のほか、芥川龍之介、堀口大學、三木露風や、合同詩集『海港』をともに刊行した柳沢健、熊田精華らの初雄宛書簡、水彩画など。
大岡信資料	950点。 「折々のうた」ほかの原稿、詩稿ノート、大岡信及び大岡と俳人・詩人による共同制作の書、絵画、工芸品、同人誌「鬼の詞」など。
西脇順三郎資料	180点。 詩集『失われた時』『豊饒の女神』『えてるにたす』ほか詩稿、「漢希ノート」など語学研究ノート、『壊歌』自装原画、油彩画、押花帳、肖像写真、眼鏡など。購入資料に「T・S・エリオットと近代人」ほか原稿や色紙なども。
磯田光一資料	9,470点。 萩原朔太郎『月に吠える』無削除本などの稀覯本を含む文学関係の旧蔵書のほか、「戦後史の空間」「鹿鳴館の系譜」などの原稿、磯田宛の大岡昇平、高橋和巳、塚本邦雄、埴谷雄高ら諸家書簡など。
内田百閒資料	320点。 日々の献立を記録した「お膳日誌」（1964～1969）、岡山県方言集ノートなどの自筆資料、御慶の会関連資料、印章のほか、著書及び収録図書一括。購入資料に「ノラヤ」ほか原稿なども。
生田長江資料	350点。 『玉石混淆』詩稿、「山川菊栄夫人への反駁」ほか原稿、「ニイチェ研究」「釈尊伝」などの創作ノート類、「震災記事」ほか日記、書、著書ほかの旧蔵書など。長江没後に佐藤春夫らが遺族に宛てた書簡や、佐藤春夫の弔辞もある。
中野重治資料	2,423点。 「日記帳 一九三四年夏」などの日記、手帳、原稿、中野が妻ら家族にあてた書簡590通、窪川鶴次郎、小林多喜二、佐多稲子、壺井栄、徳永直、宮本百合子、室生犀星ら諸家書簡1,650通など。
川口敏男資料	2,020点。 「椎の木」同人で、のちに「純粹詩」を創刊、横浜に住んだ詩人・川口敏男の遺稿、詩人からの書簡など400点、図書・雑誌など。
栗林一石路資料	3,530点。 『シャツと雑草』『俳句と生活』ほか原稿、句帖や創作ノート、日記や手帳、妻宛及び荻原井泉水らからの書簡、執筆誌切抜など。栗林一石路らが創刊した「俳句人」や編集に携わった「青木時報」「民報」、旧蔵書なども。
蘭郁二郎資料	600点。 処女作「息を止める男」ほか草稿、「大氷裂」創作ノート、学生時代の手書き同人誌「牧場」「青空」、執筆誌切抜、旧蔵品、没後に海野十三や江戸川乱歩が道又夫妻に宛てた書簡など。著書や「探偵文学」「シュピオ」などの同人誌も。

龍胆寺雄資料	380点。 「エルサレムの道」ほか原稿や詩稿、戦中日記などの自筆資料、執筆紙誌切抜、龍胆寺宛諸家書簡、著書など。購入資料として、逗子を舞台にした「黒檀の馬」ほか原稿や、榊山潤、中河与一、塚谷恵津子宛書簡もある。
鮎川信夫・森川義信資料	160点。 鮎川「戦中手記」ほか原稿、鮎川から森川義信及び森川の兄・正蔵や妹・康子氏に宛てた書簡など。また中桐雅夫ほかの森川宛書簡や森川の詩稿、手帖のほか、詩誌「LUNA」「LE BAL」など。
原満三寿収集金子光晴コレクション	3,320点。 代表作「人間の悲劇(1~6)」「IL」および「詩集「三人」」の自筆ノート、「志士の墓」ほか原稿、書画、著書、執筆誌ほか関連資料、森三千代関連資料、秋田義一画「蘇州風景」「西湖風景」や金子光晴の会資料なども。
佐藤正彰資料	1,350点。 近代仏文学の紹介に尽力した佐藤によるボードレール作品などの訳稿や評論原稿、渡辺一夫らとの共訳『千一夜物語』（読売文学賞受賞）訳稿など。大岡昇平、日夏耿之介、渡辺らからの書簡、音楽集団「スルヤ」関係資料なども。
花田清輝資料	530点。 「群猿図」「三国志をめぐる」「ものみな歌でおわる」などの原稿や創作メモのほか、安部公房、飯沢匡、福永武彦、富士正晴ら諸家書簡、安部、三島由紀夫ほかの献呈本など旧蔵書。佐々木基一、野間宏、埴谷雄高の花田宛弔辞もある。
谷田昌平・牟礼慶子資料	720点。 谷崎潤一郎「鴨東綺譚」冒頭原稿、堀辰雄手入れ「堀辰雄年譜」、中野重治書額、鮎川信夫、伊藤整、神西清、津村節子、福永武彦、堀辰雄ら諸家書簡、野間宏「顔の中の赤い月」を主題とした佐々木基一油彩画など。
横山健堂資料	80点。 「新人国記」草稿、「近世教育史」「武道史講義」などの執筆資料、家族宛書簡、別府や耶馬溪を旅した際の記録や芳名帖など。関東大震災関連や戦時中の新聞スクラップブックなども。
田中直樹（なおき）資料	420点。 田中編輯・刊行の「犯罪科学」「犯罪公論」「文学界」関連資料。江戸川乱歩、川端康成、谷崎潤一郎、山本周五郎ら諸家書簡のほか、「文学界」創刊の際に同人が寄せ書きした色紙、周五郎の未発表原稿「鴉片のパイプ」など。
山崎方代資料	140点。 「ふるさとの右左口郷は骨壺の…」など書57点のほか、草稿、肖像写真、落款印、書簡など。
井上光晴資料	120点。 創作ノート類を中心に、原稿、執筆切抜など。井上は原稿の浄書を夫人にまかせていたが、ノートにはその草稿にあたるものも多い。
中勘助資料	450点。 「天の橋立」草稿、全集未収録を含む中勘助書簡、「かひふかしたけきる音かすかなり」書、遺品・銀の匙、著書、橋本武作成「銀の匙研究ノート」なども。
李如雲資料	130点。 デビュー作「難民行」の系譜作品「父と共に」「漲潮」「楊樹浦」のほか、横浜を舞台にした「異人殺しのあつた朝」「根岸」「地蔵坂」などの小説やエッセイの草稿、書など。
木下利玄資料	2,140点。 歌稿・草稿、日記のほか、武者小路実篤、長与善郎ら「白樺」同人や川田順、北原白秋、前田夕暮など「日光」同人からの書簡、利玄短冊および利玄忌に寄せられた諸家短冊など。学習院での回覧雑誌、志賀直哉らとの回覧ノート「歌枕五人男」など「白樺」前史資料も多数。
平井呈一資料	220点。 平井呈一の原稿、小泉八雲、マッケン作品などの訳稿、書簡、書画、遺品、著書、雑誌など。

中尾充夫収集トルストイ資料	1,410点。 中尾氏が数十年に渉り収集したトルストイの邦訳著作、研究書、評伝、回想録など。二葉亭四迷訳『軍事小説 つゝを枕』などの稀観本も含む。このほかへボン作成による日本初の和英辞書『和英語林集成』初版も受贈。
富永太郎資料	573点。 「自画像」「火葬場」「富ヶ谷風景」などの絵や画帖、「秋の悲歎」「鳥獣剥製所」ほか詩稿、詩帖、フランス詩ノートほかのノート類、中原中也ら諸家書簡、肖像写真、旧蔵の洋書など、その短い生涯を網羅する内容。
嶋中雄作・鵬二資料	530点。 大岡昇平「レイテ戦記」原稿、永井荷風、坪内逍遙、有島生馬、川端康成、佐藤春夫、野上弥生子ほか書簡、諸家による揮毫帳、『溍東綺譚』私家版や発禁となった『ふらんす物語』など稀観本、島崎鶏二画島崎藤村デスマスクなど。
井伏鱒二資料	1,660点。 井伏「故篠原陸軍中尉」「雨月物語」明治翻刻本」原稿や小林秀雄、永井龍男原稿のほか、伴俊彦宛井伏書簡および太宰治、青木南八、開高健、川端康成、庄野潤三、永井龍男、三浦哲郎らからの井伏宛書簡540通など。
正岡容資料	2,250点。 「雲右衛門前後」「円朝」ほか原稿や創作ノート類、師・吉井勇や阪井久良伎、長谷川伸ら文学者に加え、花柳章太郎、林家正蔵ら芸能関係者からの書簡、書画、執筆切抜、各種印刷物など。戯作や落語関係雑誌・新聞などの旧蔵書も。
吉田満資料	1,660点。 「戦艦大和ノ最期」初稿や単行本出版の際に小林秀雄、三島由紀夫らから寄せられた推薦文の原稿のほか、「臼淵大尉の場合」「提督伊藤整一の生涯」などの原稿、創作メモ、執筆資料、書簡、執筆切抜、旧蔵書など。
宮田重雄資料	2,740点。 宮田画 獅子文六「自由学校」「但馬太郎治伝」などの挿絵原画、梅原龍三郎、獅子文六、藤田嗣治ら書簡、青山二郎ほか揮毫「朱霞緑雲」画文帖、菊池寛らの寄せ書きがある出征旗、田村泰次郎画「ムードンの森の兔料理店」など。
平塚武二資料	270点。 「風と花びら」「ヨコハマのサギ山」ほか原稿、「ヒルコ」「ハエの大旅行」など未完作品草稿、「スプーン君」「おはなし出てこい」NHK台本など。購入資料として「たまむしのずしの物語」など『風と花びら』収録作品原稿。
中尾進資料	450点。 海音寺潮五郎「西郷隆盛」、司馬遼太郎「十一番目の志士」、柴田錬三郎『眠狂四郎無頼控』など中尾進による挿絵や装幀原画多数のほか、荻須高德、子母沢寛書簡、装幀図書など。
靱山梓月資料	5,761点。 俳人であり、靱山書店店主として出版界でも活躍した梓月の、句稿、創作ノート、日記のほか、親密な交流のあった永井荷風をはじめ大須賀乙字、小山内薫、久保田万太郎、島崎藤村、高浜虚子、内藤鳴雪、夏目漱石らの書簡や書など。
吉田漉生資料	5,260点。 中原中也関連を中心とする大岡昇平ほかの書簡、旧蔵書、雑誌など。
山本七平資料	1,400点。 『小林秀雄の流儀』『日本資本主義の精神』などの原稿、執筆誌や七平関連記事の切抜、写真、愛用の眼鏡ほか遺品、安野光雅画の七平デスマスクなど。著書や、山本書店出版物、執筆誌なども多数。
野村伝四資料	576点。 夏目漱石の門下生だった伝四の原稿のほか、漱石「文学評論」原稿、漱石及び同門の寺田寅彦、野上豊一郎らの伝四宛書簡、漱石初版本など。また柳田国男からの書簡や伝四著書など、教職の傍ら民俗学研究に携わった伝四の業績を伝える資料も。

吉野秀雄資料	890点。 吉野選・宮崎主宰による歌誌「砂丘」関係の原稿、書簡、書など。このほか藤井美保子氏から須賀幸造宛、竹山秀之助氏から竹山晋一郎宛の吉野書簡350通など。
菅原克己資料	440点。 詩稿、創作ノート、自筆パステル画や書、全著作と関連雑誌など。詩稿はノートから発表原稿まで様々な異稿が残されている。パステル画は、自著の表紙に使われた作品も含む。
中村真一郎資料	90点。 「ドイツ・ロマン派の本」「文学は死なず」「江戸の春」などの原稿、自筆ノート「MORALITE DU PAUL VALERY」、幼少期から晩年までの肖像写真など。
野村吉哉資料	320点。 『柿の木のある家』『小川のほとり』など大正末期から戦前までの原稿、小川未明、与田準一らの吉哉追悼原稿、萩原朔太郎書簡、『月の物語』（アンデルセン作）、『ふるさとの山』などの著訳書、主宰誌「童話時代」「親友」など。
唐沢隆三収集資料	3,150点。 萩原井泉水の句稿ノートや手帳のほか、井泉水、河東碧梧桐、栗林一石路らの書簡、種田山頭火や井泉水「壁書」などの書画、「層雲」関連印刷物など。また「初雁」「骨」「龍」「層雲会会報」など俳句雑誌も多数。
日影丈吉資料	300点。 デビュー作「かむなぎうた」初稿のほか初期作品「海辺の町の話」「蜃気楼」などの草稿、全集編集の際発見された創作ノート類、スケッチブックなど。日影手刷の同人誌「アルコール」や執筆切抜もある。
前川佐美雄資料	550点。 『植物祭』ほかの草稿、原稿、自筆資料、書画、中原中也ほかの書簡、雑誌など。
富士川英郎資料	920点。 「菅茶山」「富士川游」ほか原稿、創作ノート、日記、色紙、寺田透、吉田健一書簡や旧蔵書など。
小林勇資料	3,350点。 幸田露伴『評釈芭蕉七部集』原稿、小林勇「蝸牛庵訪問記」などのノート、手帖、原稿、岩波茂雄、木下杢太郎、斎藤茂吉、寺田寅彦ほかの書簡、書画、写真や遺品、旧蔵書など。
福田恆存資料	430点。 「謎の女」「総統いまだ死せず」「解つてたまるか！」など原稿やシェイクスピア訳稿、手入台本、舞台稽古写真、チャタレイ裁判関係資料、愛用の弓道具など。
櫻井書店関係資料	2,830点。 石川淳「義貞記」、田中英光「われは海の子」、三好十郎「峯の雪」原稿、尾崎士郎、太宰治、田中英光、塚原健二郎、三島由紀夫、三好十郎、山本夏彦書簡、中川一政、村山知義、茂田井武装幀原画、室生犀星書幅など。
村松梢風資料	190点。 鎌倉の梢風旧宅跡にあった創作ノート、個人雑誌「騷人」の水島爾保布による表紙原画「騷人十二ヶ月帖」、遺品、著書、雑誌「騷人」など。
阿部合成資料	100点。 太宰治らと同人誌「星座」を発刊した洋画家・阿部合成らの原稿、山岸外史書簡など。
久生十蘭資料	720点。 自筆原稿「月」「花」（改稿版）、草稿、手入れ切抜、日仏語で書かれた執筆メモや創作ノート、母・阿部鑑宛はがき、写真、台本、執筆切抜や執筆資料、旧蔵の原書など。
山田幸男収集中川一政文芸資料	2,780点。 「冬のはじめ」など初期詩稿を含む原稿、高村光太郎書簡、一政装幀原画のほか「春興」「虚実戦ひて～」「椿」書画など。また一政著書と装幀本を網羅する図書1,150冊も。

城山三郎資料	8,080点。「指揮官たちの特攻」「もう、きみには頼まない」原稿、石原慎太郎、丸山薫、吉川英治、中曽根康弘ら作家、政財界関係者からの書簡のほか、辻井喬、渡辺淳一弔辞、著書や旧蔵書、スケッチブックなど。
清岡卓行資料	798点。「マロニエの花が言った」、詩集『氷つた焔』ほか原稿、訂正用手入れ本、「海の瞳 原口統三を求めて」創作メモ、河盛好蔵、原口統三ほか書簡、セ・リーグ試合日程編成ノート、著書、清岡編集の詩誌「鰐」など。
竹山道雄資料	7,690点。「ビルマの豎琴」草稿断片、「憑かれた人々」「手帖」「みじかい命」原稿、ノート、安倍能成、石井桃子、長与善郎書簡、著訳書、旧蔵書など。購入資料として『ビルマの豎琴』（中央公論社 1948）原稿（初出誌への手入れ）も所蔵。
平尾榮美コレクション 武井武雄資料	1,780点。「刊本作品」139冊と専用本箱全揃い、「刊本作品（豆本）ひとりごと」「親類通信」「親類帖」、会員証、記念帖など“親類”と呼ばれた友の会会員関連資料、版画、書簡、『お嘶の卵』『花園の車』などの著書や装幀書、掲載誌など。
辻原登資料	430点。「村の名前」「翔べ麒麟」「韃靼の馬」「籠の鸚鵡」「亘どもえ」ほか原稿、創作ノート、著書など。
上田保・静栄資料	1,350点。シュルレアリスト・上田保と妻で詩人の上田（旧姓・友谷）静栄資料。高村光太郎による静栄『海に投げた花』序文原稿、萩原朔太郎最晩年の書簡と静栄による朔太郎追悼詩「香華」原稿、日記、金子光晴、森三千代、北園克衛書簡など。
渡辺啓助・温資料	640点。渡辺温のシルクハット、インバネス、渡辺啓助の草稿、自筆資料、絵画、旧蔵の図書雑誌など。
筒井敬介資料	1,100点。「コルプス先生動物園へ行く」、未完小説「青くて黒い鳥」、放送台本などの原稿、著書、学習雑誌を中心とした執筆誌など。
菊本健三収集児童文学資料	200点。各国語訳の『星の王子さま』コレクション、『ピーター・パン』初出“The little white bird”（1902）原書ほかピーター・パン関連の貴重書など。
秋山駿資料	2,290点。伊藤整文学賞受賞作「人生の検証」をはじめ、「信長」「忠臣蔵」「『生』の日ばかり」など代表作を含む原稿、江藤淳、開高健、北杜夫、埴谷雄高、三浦哲郎、安岡章太郎らからの書簡、執筆誌など。
須賀敦子資料	330点。イタリア在住時代の家族宛書簡や須賀宛の庄野潤三、松山巖書簡、自筆草稿、写真、コルシア書店から発行された須賀の個人誌「どんぐりのたわごと」15冊揃いなど。
渡邊輝也収集児童文化資料	490点。立川文庫ほか諸作家による猿飛佐助作品、原書を含む「ちびくろサンボ」資料、現在刊行が確認されている「カバヤ文庫」全冊と、点数カード、ポスターなど。
本多秋五資料	190点。「近代文学」を創刊した1926年から亡くなる前日の2001年1月12日までの日記。
佐瀬蘭舟資料	370点。夏目漱石、金子薫園、土岐善麿、山本有三らの蘭舟宛書簡、漱石賛の箱書き「竹根海老」、明治大正期の文学書など。
江藤淳資料	830点。山川方夫、遠藤周作ほか江藤宛諸家書簡、[「夏目漱石論」]草稿、大正大学教授職辞職願、小林秀雄ほか『漱石とその時代』推薦文原稿など。
創元社資料	240点。草野心平、小林秀雄、林房雄、舟橋聖一、堀辰雄、山崎豊子、横光利一、吉田健一らの小林茂宛書簡など。

朝倉撰資料	540点。 水上勉「桜守」、山本周五郎「季節のない街」ほか、石川達三、井上ひさし、円地文子、開高健、宮尾登美子、吉行淳之介などの小説、児童文学の挿絵や装幀原画など。
秋元松代資料	1,000点。 「山ほととぎすほしいまま」「七人みさき」ほか原稿、創作ノート、取材ノート、日記、橋本多佳子、三好十郎ほかからの書簡、台本、写真など。
今武平・日出海資料	1,000点。 今日出海原稿、日記、書簡、写真、著書、「塔」、「白光」などの自筆回覧雑誌、父・武平宛書簡、武平の日記、雑誌「スルヤ」など。
佐々木邦資料	170点。 「小説とユーモア」、「AKACHAN」（「赤ちゃん」英訳）ほか原稿、日記、創作ノート、手入図書、画帖、写真、著書など。
浜賀知彦収集サークル誌資料	1,950点。 文学史家・浜賀知彦収集の「詩集下丸子」「京浜文学新聞」「石ツブテ」「南部文学通信」ほか、京浜地帯をはじめとする職場サークル誌と書簡など。
田久保英夫資料	230点。 デビュー作「緑の年」や「触媒」などの原稿、取材ノート、江藤淳、川端康成、吉行淳之介らの書簡、書、遺品、著書など。
深田久弥資料	2,330点。 「北の旅」などの原稿・草稿、日記、北畠八穂、中河与一宛書簡、山行時のアルバム、著書、執筆誌など。
夏目漱石・正岡子規資料	54点。 夏目漱石「素人と黒人 四」原稿、「道草 七十五」「同 七十七」（部分）草稿、漱石書簡、書「不知帖」、正岡子規「承露盤」「俳句分類」草稿、子規書簡、書など。
小瀧穆旧蔵資料	71点。 中央公論社の編集者だった小瀧穆旧蔵の永井荷風、坂口安吾らの原稿・草稿、書簡、永井荷風、太宰治の写真など。
川西政明旧蔵資料	160点。 埴谷雄高ほか原稿、駒井哲郎制作の埴谷雄高『闇のなかの黒い馬』装幀・挿絵原画、書簡など。
古井由吉資料	550点。「権」「男たちの円居」ほか原稿、大学卒業論文、修士論文、語学ノート、書簡など。
大庭みな子資料	2,600点。「三匹の蟹」「ふなくい虫」ほか原稿、書簡、著書など。
富岡多恵子資料	270点。 『中勘助の恋』『湖の南』ほか原稿、絵画、写真、著書など。
三好豊一郎資料	230点。 詩稿、書、書簡、三好豊一郎詩画集「黙示」、詩画集「あんま」、細江英公『鎌鼬』など。

2 資料整理の方法(事例)

○図書データ(1)

書誌データと、1冊ごとの蔵書データを入力する。

【書誌データ】

書名 = 夏目漱石全集

巻次、回次、年次など = 別巻

著編者 = 夏目漱石著

江藤淳、吉田精一編集

出版事項 = 東京 角川書店 1975.2.5(昭50)

形態事項 = 537p, 図版[2]p 19cm(B6判)

一般注記 = 装幀: 栃折久美子

各巻書名 = 漱石文学案内

内容細目 = 内容: 1; 漱石解説への一つの試み(福原麟太郎). 夏目漱石(小泉信三). スウィフトと漱石先生(森田草平). クレイグ先生と藤野先生(抄)(平川祐弘). 夏目漱石の文芸理論(吉田精一). 漢詩の世界(山本健吉). 漱石の文体(波多野完治).

漱石の言葉と文体 (高橋英夫).
2 ; 登世という名の嫂 (江藤淳). 「野分」の構図 (和田謹吾). ある相聞歌 (小坂晋). 漱石と楠緒子 (中山和子).
3 ; 『吾輩は猫である』の世界 (水谷昭夫). 「蜘蛛手」の街 (ジャン・ジャック・オリガス). 『漾虚集』の問題 (内田道雄). 「坊っちゃん」試論 (平岡敏夫). 喜劇の時代 (越智治雄). 『三四郎』(ジェイ・ルービン). 『行人』について (橋本佳). 『明暗』論 (三好行雄).
4 ; 五月雨 (武者小路実篤). 漱石先生の『心』を読んで (小宮豊隆). 「道草」のモデルと語る記 (関荘一郎). 木曜会の思い出 (松浦嘉一).
5 ; 座談会 夏目漱石を語る (小宮豊隆, 武者小路実篤, 長与善郎, 安倍能成, 辰野隆, 大内兵衛).
年譜 (内田道雄). 参考文献 (内田道雄).

【蔵書データ】

入手区分= 寄贈
文庫記号= S06
文庫区分= 中川孝収集実篤文庫
著者記号= ナツ
図書記号 16-16
請求記号= S06//ナツ/16-16
備考1 = オビ (ハコ)
備考2 = 文庫注記: 「五月雨」「夏目漱石を語る」(小宮豊隆ほかとの座談会) を収録
配架場所= 別置文庫

○図書データ (2)

【書誌データ】(副本がある場合は共有する)

書名= 感情装飾
著編者 = 川端康成著
出版事項= 東京 金星堂 1926. 6. 15(大 15)
形態事項= 4, 204p 18cm(B6判)
一般注記= 装幀: 吉田謙吉
内容細目= 内容: 掌の小説36篇. 日向. 死顔の出来事. お信地藏. 滑り岩. 屋根の下の貞操. パッタと鈴虫. 髪. 金糸雀. 港. 写真. 白い花. 母. 子の立場. 指環. 時計. 落日. 人間の足音. 弱き器. 火に行く彼女. 鋸と出産. 敵. 有難う. 万歳. 胡頹子盗人. 玉台. 夏の靴. 雀の媒酌. 朝鮮人. 二十年. 硝子. 冬近し. 心中. 龍宮の乙女. 処女の祈り. 月.

【蔵書データ】

(1冊目)

入手区分= 寄贈
請求記号= K02 1805
配架場所= 別置文庫
資料状況= 貴重書(K)
文庫名 = 近藤東文庫

(2冊目)

入手区分= 購入
請求記号= カ30カ2 備考: 帙(私製)
配架場所= 一般書架
資料状況= 貴重書(K)

○雑誌データ (1)

まず、雑誌タイトルを確定し、マスターデータを作成する。
次に、蔵書データと子書誌(各巻データ)を入力する。

【マスターデータ】

国際標準逐次刊行物番号= 0529-6838
全国書誌番号(JP番号)= 00014972
雑誌名= 中央公論
他言語標題= The central review
巻次・年月次= 14年1号(明治32年1月)~+
刊行頻度= 月刊
判型=A5
出版地= 東京
出版者= 反省社
出版年= 1899-+
出版者= 中央公論社
出版者= 中央公論新社

目次索引＝ プロレタリア詩及び関連細目：『プロレタリア詩雑誌集成別巻』（050/150-4）に収録
目次索引＝ 14年1号～85年12号の総目次：『中央公論総目次』（050/1）に収録
目次索引＝ 117年の総目次：同誌117年12号に収録
目次索引＝ 122年総目次：同誌122年12号に収録
目次索引＝ 127年総目次：同誌127年16号に収録
目次索引＝ 2013年総目次：同誌128年12号に収録
目次索引＝ 2014年総目次：同誌129年12号に収録
目次索引＝ 2016年総目次：同誌130年12号に収録
出版者に関する注記＝ 出版者：→中央公論社（29年1号～）→中央公論新社（114巻3号～）
その他注記＝ 「リクウ」と巻号共有
改題前の標題＝ 「反省雑誌」の改題，巻次継承
改題後の標題＝ 明治37年2月から「新公論」を分離．昭和35年10月から「小説中央公論」を分離
雑誌番号＝ 8039

【各巻データ】

巻＝ 65
号＝ 1
年月次＝ 1950/01
特集名＝ 対話特集ひとびとの哲学
付属資料名＝ 自由に死す 河合榮治郎法廷闘争記
個人件名（漢字形）＝ 河合／／榮治郎

【蔵書データ】

（正本）
受入区分＝ 購入
配架＝ 雑誌一般
（2冊目）
文庫名＝ 野間宏文庫
受入区分＝ 寄贈
備考＝ 図書より移管 2024.2
状態＝ 付録のみ
配架＝ 雑誌副本
（3冊目）
文庫名＝ 大野林火文庫
受入区分＝ 寄贈
備考＝ 図書より移管 2024.8
状態＝ 付録のみ
配架＝ 雑誌副本
（4冊目）
受入区分＝ 寄贈
備考＝ 図書より移管 2024.8
状態＝ 付録のみ
配架＝ 雑誌副本

○特別資料データ（1）

著作者名＝ 夏目漱石，鈴木三重吉
種別＝ 書簡
タイトル＝ 鈴木三重吉 宛
年月日＝ [1905.12.24]
形態＝ 封書，和紙，墨，封筒欠
数量＝ 1通1枚
寸法＝ 450×294mm
初出・収録＝ 収録：『漱石全集』第22巻 岩波書店 1996.3 No. 508
一般注記＝ 鈴木三重吉が「島の宿にて 三重吉拜」として影法師の絵の中に「炬燵して或夜の壁の影法師」とした信書に，漱石が「鈴木子の信書を受取て」として「只寒し封を開けば影法師」と詠んだもの
請求記号＝ 300 A9686
レプリカ番号＝ 01819
写真番号＝ 18866/MN35
配架場所＝ 記念室
資料状況＝ デジタル化資料(D) 備考：夏目漱石特別コレクション

○特別資料データ（2）

著作者名＝ 中島敦
種別＝ 原稿
タイトル＝ [「李陵」]
形態＝ コクヨの165原稿用紙(20×20)ほか，ペン，鉛筆
数量＝ 77枚
初出・収録＝ 初出：「文学界」1943.7

一般注記＝ [34 枚目：複製] 原稿用紙：コクヨの 165 (20×20), フジ (20×20)
請求記号＝ N06 110 7769
配架場所＝ 記念室
資料状況＝ デジタル化資料(D)
文庫名 ＝ 中島敦文庫 (SM195584)

備考：DVD-ROM 画像注記：画像ページ 1～53：1～53 枚目 画像ページ 54：52 枚目裏 (53 枚目挿入原稿) 画像ページ 55～69：54～68 枚目 画像ページ 70：67 枚目裏 (68 枚目挿入原稿) 画像ページ 71～79：69～77 枚目 画像ページ 80～82：4 枚目裏, 61 枚目裏, 77 枚目裏

○特別資料データ (3)

著作者名＝ 鈴木三重吉
種別 ＝ 手入切抜
タイトル＝ 「この鳥」

『世界童話 第3集』

発行資料名＝ 『世界童話集 第21編』

発行者 ＝ 春陽堂

年月日 ＝ 1926.8

形態 ＝ 図書切抜, ペン

数量 ＝ 13 枚

初出・収録＝初出：『世界童話 第3集』春陽堂 1929.8

一般注記＝ 標題「鴻の鳥」を訂正 『世界童話 第3集』536枚のうちデンマーク・アンデルセン作

請求記号＝ S05 120 368

配架場所＝ 記念室

文庫名 ＝ 鈴木三重吉・赤い鳥文庫

※この他、図書・雑誌・特別資料の書誌データにはタイトル(資料名、特集名、付属資料名等)と著者名、関連人名のカナ読み、神奈川ゆかり情報も記載する。

また、蔵書データにはそれぞれ寄贈元固有のデータ、寄贈日、バーコード番号、配架場所、単価、評価額などを入力する。